

## お知らせ

このたびは本製品をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。  
本製品をご使用いただく前に必ず下記内容をご確認ください。

### microSD カード対応容量変更について

- 本製品に使用できる、microSD カードの対応容量が変更となります。  
対応 microSD カード：16GB～128GB (class10 推奨)
- 各 microSD カード容量の記録時間の目安は以下のとおりです。

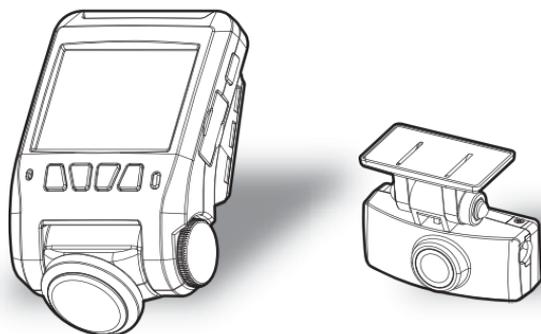
動作状態	microSD カード容量			
	64GB		128GB	
		イベント件数		イベント件数
メイン+リヤカメラ (FullHD)	約 220 分	約 20 件	約 440 分	約 40 件
メイン+リヤカメラ (HD)	約 240 分	約 24 件	約 480 分	約 48 件
メインカメラのみ	約 340 分	約 36 件	約 680 分	約 72 件

※16GB～32GB までの記録時間については取扱説明書 (⇒P27) をご確認ください。

全天周ドライブレコーダー

取付説明書／取扱説明書／保証書

# HDR360GW/HDR360GS



HDR360GS にリヤカメラは同梱されていません。

お買い上げ時の設定では、液晶表示は安全運転の妨げとならないように、起動時およびメインカメラでの操作を行なった後、30秒点灯し、その後消灯します。(⇒ P59)

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることが出来る所に保管してください。

なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

## ⚠ 注意

本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認し、microSDHC カードの取り出しを行なってください。  
※駐車監視モード中は P64 を参考に取り出しを行なってください。



## 👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。

COMTEC

はじめに

取付け

映像を撮る

映像を見る

設定

駐車監視モード  
を使用する

その他

# 目次

目次	2	設定	52
はじめに	3	設定方法	52
安全上のご注意	3	設定内容一覧	53
ご使用上のお願い	5	録画・録音設定	55
知っておきたいこと	7	機能設定	58
新しいmicroSDHCカードを使用する	8	機器情報	61
microSDHCカードの取り出し方	9	<b>駐車監視モードを使用する (オプション)</b>	<b>62</b>
梱包内容	10	駐車監視モードについて	62
各部名称	11	駐車監視モードの動作について	63
別売オプション	12	駐車監視モード作動中の microSDHCカードの取り出し方	64
<b>取付方法</b>	<b>13</b>	駐車監視モードの各種設定	64
取付手順を確認する	13	<b>補償サービス</b>	<b>67</b>
シガープラグコードを接続する	13	補償サービスについて	67
取付位置を確認する	14	<b>付録</b>	<b>71</b>
メインカメラを取付ける	15	よくあるご質問	71
メインカメラを取外す	18	LEDランプ確認表	72
リヤカメラを取付ける	19	オートディマー機能	72
日時を設定する	21	商標について	72
動作を確認する	22	メッセージ一覧表	73
<b>映像を撮る</b>	<b>24</b>	製品仕様	75
映像の記録について	24	<b>さくいん</b>	<b>76</b>
電源をONにする	30	<b>保証規定</b>	<b>79</b>
電源をOFFにする	30	<b>保証書</b>	<b>裏面</b>
リセットスイッチについて	30		
<b>映像を見る</b>	<b>34</b>		
メインカメラで映像を再生する	34		
ナビゲーションで映像を再生する	36		
パソコンで映像を再生する	37		
パソコンで録画データを 保存/削除する	46		
地図表示について	50		
保存ファイルを開く	51		
ファームウェアを更新する	51		

## 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。

**警告** この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

**注意** この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
<b>長押し</b>	スイッチを2秒程度長めに押すことを示しています。

<b>警告</b>	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。

# はじめに

⚠ 警告	
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
	エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
	microSDHC カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
⚠ 注意	
	気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
	メインカメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
	本製品を下記のような場所で保管しないでください。メインカメラの変色や変形など故障の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。</li><li>・湿度が高い所やほこりの多い所。</li></ul>
	microSDHC カードを本製品に挿入する場合、挿入方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・静電気や電気ノイズが加わった場合。</li><li>・水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。</li></ul>
	一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

## ご使用上のお願い

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。予めご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- microSDHC カードを抜く時は必ず、車両キースイッチ OFF 後 **microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯**したことを確認してから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は超広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

# はじめに

- ガラスにスモークフィルムが貼られた車両（純正プライバシーガラス装着車除く）や夜間の明かりがない場所などでは、道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。
- 弱電界地域では地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューワソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品にはお買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。  
（ただし microSDHC カード、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません）
- 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア（ファームウェア）のアップデートプログラムを弊社ホームページで公開する場合があります。定期的に弊社ホームページをご確認いただき、常に最新のバージョンでのご使用を推奨します。  
※アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業代はお客様のご負担となります。
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は DC12V/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 知っておきたいこと

### ● 液晶ディスプレイについて

- ・液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。  
※上記の状態でディスプレイが表示されていない場合でも、その他の機能は正常に動作しています。

### ● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

### ● GLONASS とは

「GLObal'naya NAvigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

### ● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

### ● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

### ● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

### ● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

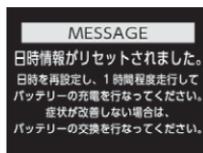
# はじめに

## ● GPS の速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

## ● 日時情報保持用の内蔵バッテリーについて

- ・本製品は日時情報を保持するために本製品内部にバッテリーを搭載しています。
- ・初めて使用する場合や長期末使用（6 ヶ月以上）の場合は、1 時間ほど走行し内蔵バッテリーの充電を行なってからご使用ください。
- ・内蔵バッテリーは消耗品のため充電を行っても右記メッセージ画面が表示される場合は、裏表紙記載の弊社サービスセンターまでご相談ください。内蔵バッテリーの交換に関してはお預かり修理での対応となります。



## ● microSDHC カードについて

- ・付属の microSDHC カードは本機専用です。
- ・本機を使用するときは、microSDHC カードが必要です。
- ・microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度使用する場合約 1 年を目安に交換することをお勧めします。また、使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。  
※寿命となった microSDHC カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・microSDHC カードをパソコンでフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・本製品使用時は付属または別売オプションの microSDHC カードを使用してください。市販品の microSDHC カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

## ● パソコンでのフォーマットについて

パソコンで microSDHC カードをフォーマットする場合は、専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットを行なってください。フォーマットソフトは、下記 SD アソシエーションのホームページから入手できます。

URL : <https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter/index.html>

※フォーマットをすると、microSDHC カードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行なってください。

## ● ビューワソフトについて

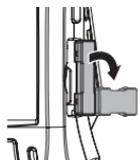
専用ビューワソフトは弊社ホームページ (<https://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードを行うことができます。

## 新しい microSDHC カードを使用する

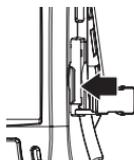
新しい microSDHC カードや別売オプションの microSDHC カードを使用する際は必ず、メインカメラで SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P60)

## microSDHC カードの取り出し方

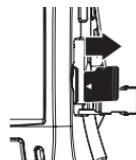
microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、

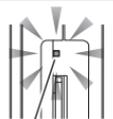


少し飛び出してきたら引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSDHC カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

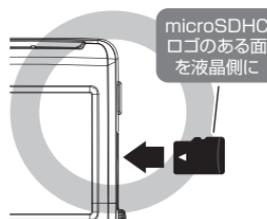
### ⚠ 注意

- エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSDHC カードの抜き差しを行なってください。
- microSDHC カードをメインカメラの microSDHC カードスロットに差し込む際は、向きや挿入方向にお気を付けてください。無理に挿入すると、microSDHC カードスロットの破損や microSDHC カード自体の破損の原因となります。
- microSDHC カードを抜く際に、ラジオペンチなどの工具を使用しないでください。microSDHC カード破損の原因となります。
- microSDHC カードの移動や保管する場合は、付属のカードケースの利用をおすすめします。



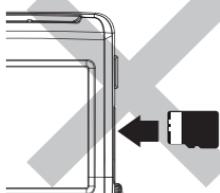
microSDHC カード  
アクセスランプ

### 正しい向き

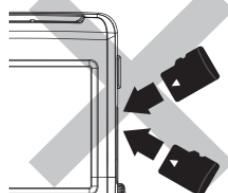


### 間違い

#### 裏向きに差す



#### 斜めに差す



# はじめに

## 梱包内容

ご使用頂く前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。

メインカメラ



リヤカメラ



※ HDR360GS には同梱されていません。

### 付属品

カメラケーブル (約 9m)



※ HDR360GS には同梱されていません。

メインカメラ取付ステー  
固定用両面テープ (1 枚)



リヤカメラステー調整用  
六角レンチ (2.5mm / 1 個)

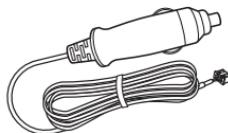


※ HDR360GS には同梱されていません。

コードクランプ (3 個)



シガープラグコード  
(約 4m/1A ヒューズ内蔵)



リヤカメラ取付ステー  
固定用両面テープ (1 枚)



※ HDR360GS には同梱されていません。

microSDHC カード  
(32GB/1 枚)

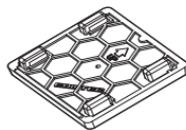


※ microSDHC カードは本体にセットされています。

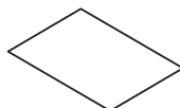
ステッカー (1 枚)  
(150 × 42mm)



メインカメラ取付ステー



脱脂クリーナー (1 枚)



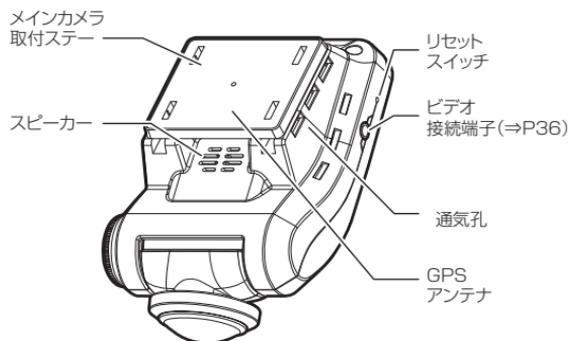
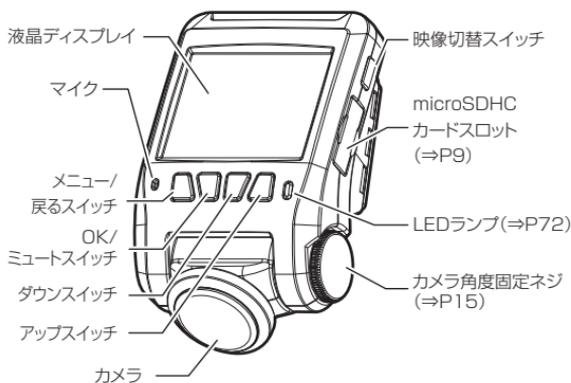
SD カード変換アダプター  
(カードケース付き 1 枚)



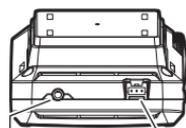
取扱説明書 (本書 / 1 冊)



## 各部名称



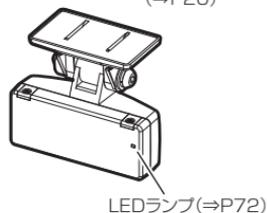
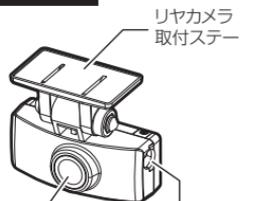
## メインカメラ上部



カメラ接続端子(⇒P19)

電源接続コネクタ(⇒P13)

## リヤカメラ



※HDR360GSIには同梱されていません

## ⚠ 注意

- ・ microSDHC カードは消耗品であり、約1年を目安に交換することをお勧めします。
- ・ microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 駐車監視モードなどの長時間録画を行うと早めの交換が必要になります。
- ・ 付属品と別売オプション以外の microSDHC カードの動作保証は致しかねます。
- ・ メインカメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

# はじめに

## 別売オプション

品名	使用目的 / 仕様	品番	
ステッカー [ドライブレコーダー 搭載車]	サイズ：150(W) × 42(H)/mm 1 枚入り	HDR0P-06	
ステッカー [駐車監視中]	サイズ：62(W) × 36(H)/mm 2 枚入り ※透明ステッカーに白色印刷タイプ	HDR0P-07	
microSDHC カード	メモリ容量：16GB / 32GB スピードクラス：class10	16GB	HDR0P-16
		32GB	CDS-32GA
AV ケーブル	ドライブレコーダーの映像をナビゲーションなどで表示するためのケーブルです。(ケーブル長：約 2.0 m)	VC-100	
駐車監視・ 直接配線コード	車両キースイッチ OFF 後も車両バッテリーから電源供給を行い、録画を行うことができます。 ※シガープラグコードや直接配線コードを別途配線する必要はありません。	HDR0P-14	
直接配線コード	本製品の電源を直接車両から取る際に使用します。 (ケーブル長：約 4.0 m)	HDR0P-15	
ドライブレコーダー用 両面テープ	サイズ：45(W) × 38(H)/mm	HDR0P-17	
シガープラグコード	車両シガーソケットから電源を取ることができます。	HDR0P-18	
AC アダプター	本製品の電源を家庭用 (AC100V) コンセントから取ることが出来ます。	HDR0P-21	
ステーセット	メインカメラ取付ステーとメインカメラ取付ステー固定用両面テープのセットです。	HDR0P-27	
HDR360GS 用 リヤカメラセット	HDR360GS にリヤカメラを追加することができます。 リヤカメラ、カメラケーブル (約 9m)、リヤカメラ取付ステー固定用両面テープ (1 枚)、リヤカメラステー調整用六角レンチ (2.5mm / 1 個) がセットになっています。	HDR0P-28	

## 取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。

車両にシガープラグコードを接続する (P13)

車両に本製品を取付ける (P15 ~ P17, P19 ~ P20)

日時を設定をする (P21)

動作確認を行う (P22, P23)

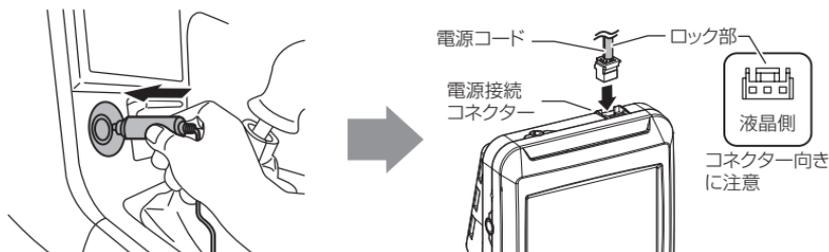
メインカメラの液晶で  
映像を確認する (P34, P35)

パソコンで映像を確認する  
(P37 ~ P41)

終了

## シガープラグコードを接続する

車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込み、メインカメラの電源接続コネクタに電源コードを差し込んでください。



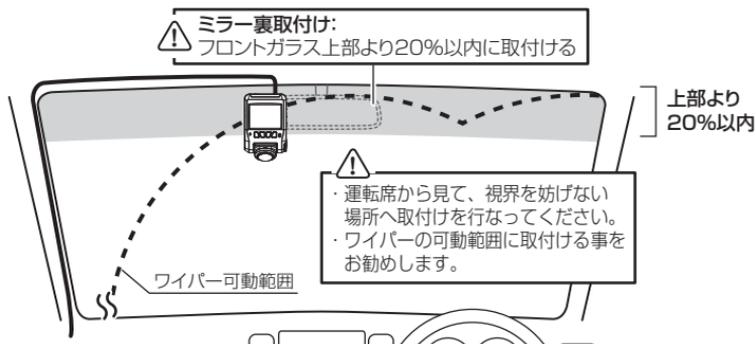
### ⚠ 注意

電源接続コネクタには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。また、取外しの際はロック部を押しながら引き抜いてください。無理に配線を引っ張ると破損します。

# 取付方法

## 取付位置を確認する

本製品はフロントガラスに取付けることができます。保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付けを行なってください。



### ⚠ 注意

- ・フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。  
※道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条および別添37  
※コードクランプなどの貼付けも保安基準違反になるため、絶対に行わないでください。
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをお勧めします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けてください。
- ・本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・メインカメラの取付位置（フロントガラス）により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ずGセンサー設定を見直してください。
- ・メインカメラ側に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

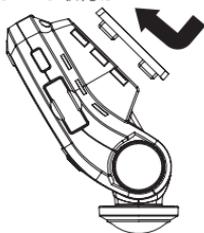
## メインカメラを取付ける

※ 本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

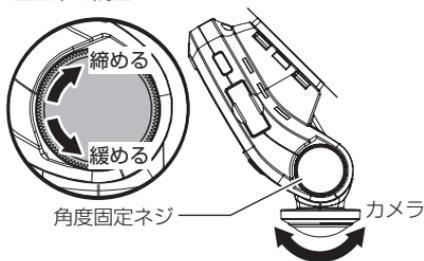
- 1) カメラの角度固定ネジを緩めた状態で仮固定し、カメラの取付角度を調整します。調整後に角度固定ネジを締めます。

- ・メインカメラステー部をフロントガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながらカメラが地面と垂直になるように角度を調整してください。
- ・角度調整を容易に行うため、取付ステーをフロントガラスへ貼付ける前に角度調整を行なってください。
- ・カメラレンズがサンバイザーなどで遮られない位置が確認してください。

### ■ステーの取付け



### ■上下の調整



### ⚠ 注意

- ・必ず角度固定ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- ・角度調整後は角度固定ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- ・カメラ角度固定ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ・定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

液晶の映像を確認しながら角度調整を行なっている際も、常時録画データやイベント録画データの記録を行なっているため、ご注意ください。

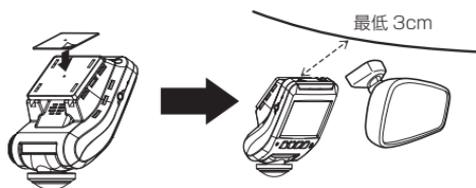
### 👉 アドバイス

- ・液晶表示が消灯している場合、【メニュー / 戻る】スイッチを短押しすることで液晶が 30 秒間表示されます。(⇒ P59)
- ・カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズれてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。
- ・フロントガラスの取付け許容範囲は傾斜角 25° ~ 75° です。

# 取付方法

- 2) 位置が決まったら貼付位置をテープなどでマーキングし取外します。付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。

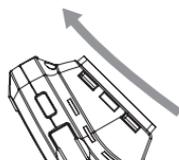
※メインカメラをステーから取外す(⇒P18)際、上方向にスライドする必要があるため、天井やミラーなどに接触しない位置に貼付けてください。



## アドバイス

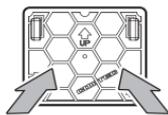
- ・ステーを貼付ける際は片側から順に少しずつ貼付けると、空気が入りにくくきれいに貼れます。

※一度に貼付けると空気が入りやすくなり、ステーが剥がれやすくなります。空気が残ってしまった場合は、中心の穴から空気を抜いてください

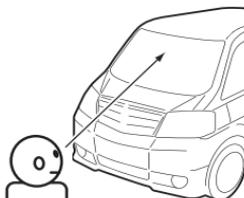


片側から順に貼付けていく

- ・貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラがないようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがないことを確認してください。



ステー貼付面を裏側から押さえる。



車外から貼付面にムラがないことを確認する。

### ◇ステー貼付面



全体に貼付いている

気泡や色ムラがある

## ⚠ 注意

- ・ 自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- ・ 取付ステーには上下方向があるため、ステーのみで貼付ける際はステーの向きにご注意ください。

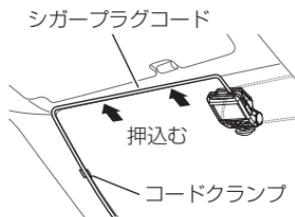
## 剥がれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・ 必ず付属のクリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。**パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。**剥がれの原因となります。
- ・ サンシェード等の日除けを使用する際は、メインカメラをフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれの原因となります。
- ・ 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。
- ・ 一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・ 取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・ 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないと剥がれることがあります。

## 3) シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。

※運転の妨げにならないように、付属のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。

※地デジやETC等のコードと一緒に束ねないようにしてください。地デジやETCなどの受信感度が低下する恐れがあります。



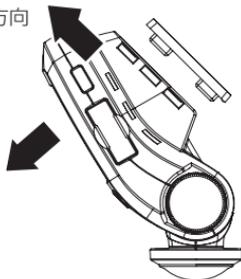
# 取付方法

## メインカメラを外す

メインカメラを上方向にスライドさせてから引抜き、取外します。

①メインカメラを上方向  
へスライドする

②引抜く



### ⚠ 注意

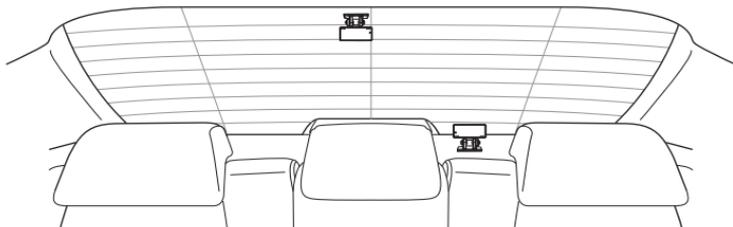
- 工具は使用しないでください。破損の原因となります。
- 再度取付後は奥までしっかり確実に止めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- 定期的に緩みがないか点検を行なってください。

## リヤカメラを取付ける ※ HDR360GS には同梱されていません。

- ・リヤカメラを使用する場合は電源 OFF 状態で接続を行なってください。電源 ON 中にリヤカメラを接続しても認識しません。
- ・リヤカメラは必ず下記内容をご確認のうえ、リヤガラスまたはリヤトレイ等に取付けてください。またメインカメラ取付時の注意事項 (⇒ P15 ~ P17) も参考にしてください。
- ・リヤカメラを取外して使用する際は、リヤカメラを取外した後に [工場出荷状態に戻す] (⇒ P60) を行なってください。

### リヤカメラを取付ける前に下記内容を必ずご確認ください。

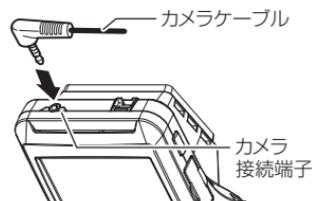
- ・リヤガラスが可動する車両やリヤガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リヤカメラはリヤトレイなどに取付けてください。
- ・リヤガラスがプライバシーガラスになっている場合、夜間に記録した映像は特に見えにくくなります。
- ・電動リヤサンシェードなど車両の装備と干渉しないことを確認の上、取付けを行なってください。
- ・ワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。範囲外に取付けるとリヤガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなる場合があります。
- ・両面テープの貼付け面がリヤガラスの電熱線と重ならないように取付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近にカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。



## 取付方法

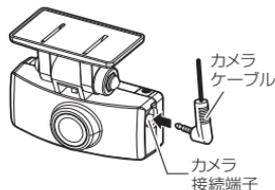
※ 本書ではリヤガラスへの取付けを例に説明を行います。

- 1) メインカメラのカメラ接続端子にカメラケーブルを接続します。

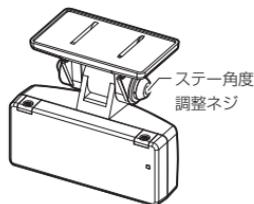


# 取付方法

- 2) リヤカメラのカメラ接続端子に、カメラケーブルを「カチッ」と音がなるまで押し込み接続します。



- 3) ステアの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、リヤカメラの取付角度を調整します。調整後に付属のステア調整用六角レンチでネジを締めます。

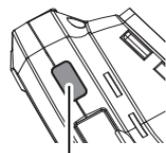


- ・仮固定する際は、市販の粘着力の弱いテープなどを使用してください。
- ・ステア部をリヤガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながらリヤカメラが地面と垂直になるように角度を調整してください。

## 👉 アドバイス

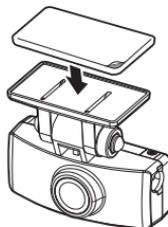
録画画面の表示は [映像切替スイッチ] を押すと、  
[2分割] → [ラウンド] → [リヤカメラ] → [メイン+リヤカメラ] → [メイン+リヤ+車内] の順に表示映像が切替わります。(⇒ P31)

※ リヤカメラを接続していない場合は、[2分割] と [ラウンド] 切替えのみとなります。



映像切替スイッチ

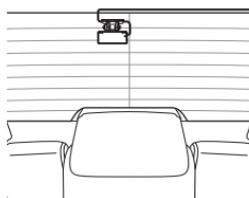
- 4) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびリヤガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、リヤガラスに貼付けます。



- 5) カメラケーブルの配線の取回しを行なってください。

※ 運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。

※ 地デジや ETC 等のコードと一緒に束ねないようにしてください。



## 日時を設定する

車両に本製品を取付けた後に日時設定を行なってください。

※ GPS 衛星を受信すると自動的に日時を設定します。

※ 本製品は日時情報を保持するためにメインカメラ内部にバッテリーを搭載しています。内蔵バッテリーが消耗すると日時情報がリセットされ、起動時にメッセージ画面とブザー音でお知らせします。その場合正確な日時で映像が記録できなくなるため、必ず日時を設定し直してください。

### アドバイス

GPS 衛星が受信しにくい場所では、あらかじめ手動で日時を設定することをおすすめします。

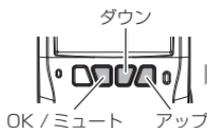
## 設定方法

- 1) 【メニュー/戻る】を長押しして【メインメニュー】を表示する。

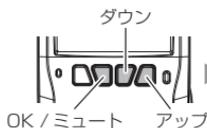
※ 60 秒間スイッチ操作を行わないと録画画面に戻ります。



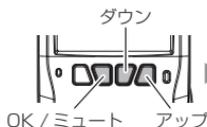
- 2) 【アップ】【ダウン】で【機能設定】を選択し、【OK / ミュート】を押す。



- 3) 【アップ】【ダウン】で【日時設定】を選択し、【OK / ミュート】を押す。



- 4) 【アップ】【ダウン】で設定し、【OK / ミュート】で次の項目に移動します。



- 5) 日付表示形式を設定し、【OK / ミュート】を押すと日時情報が更新されます。



# 取付方法

## 動作を確認する

### 1.GPS の受信を確認する

車両キースイッチを ON にし、本製品起動後に、GPS アイコンが灰色から白色に変わり速度が表示されることを確認してください。

※ GPS の受信には数十秒～数分かかる場合があります。



アイコン	表示内容
	GPS を受信時に表示
	GPS を未受信時に表示

#### 👉 アドバイス

下記のような場所では、GPS を受信することができず、GPS アイコンの表示および速度の表示がされません。（トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・森の中など）その場合、場所を移動してから確認を行ってください。

## 2. マニュアル録画の動作を確認する

- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【アップ】【ダウン】スイッチのいずれかを押しください。



【アップ】 or 【ダウン】  
スイッチを押す

- 2) 『ピッ』と音が鳴り、LED ランプが緑点滅を始め、音声および録画データを記録します。



LEDランプ緑点滅

### 👉 アドバイス

お買い上げ時の録音設定は [ON] になっています。設定で [OFF] にすることもできます。(⇒ P55)

## 3. 記録した映像を確認する

記録した映像を確認してください。(⇒ P34)

※リヤカメラを接続している場合は、【映像切替スイッチ】を押してメインカメラとリヤカメラの映像を切替え、それぞれ正常に記録されていることをご確認ください。

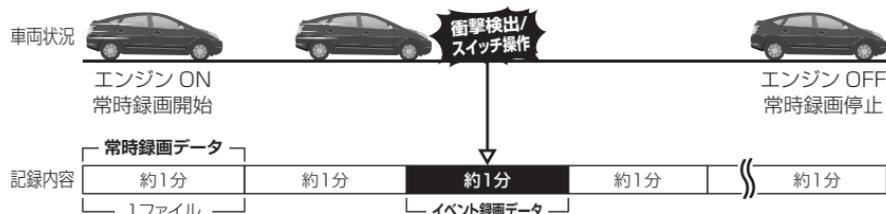
### 《確認内容》

- ・『常時録画』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること
- ・『マニュアル録画』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること
- ・録画データに音声録音されていること

# 映像を撮る

## 映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



**事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。**

### 👉 アドバイス

- ・お買い上げ時の設定では、microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作を変更することができます。(⇒ P55)
- ・メインカメラ起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出して、新しく記録することはできません。
- ・LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、メッセージを解除してください。
- ・本製品は、重大な事故などで電源が遮断された場合でも記録中の録画データの破損を防ぎ保存を行う、バックアップ機能を搭載しています。

## 常時録画について

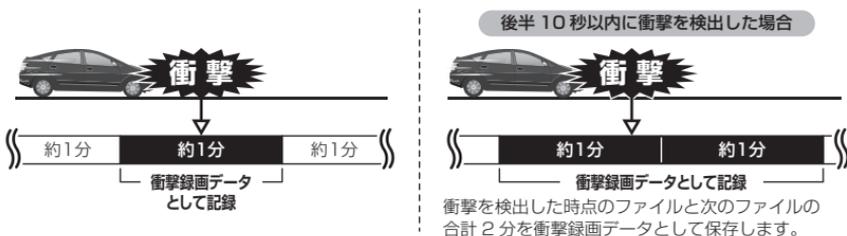
- ・エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした後からエンジンを OFF (車両キースイッチを OFF) にするまでを、常時録画データとして microSDHC カードに自動で記録を続けます。
- ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。  
※ 駐車監視常時録画データも常時録画の領域に記録されます。

## イベント録画について

- ・ イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、スイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』、駐車中の衝撃を検出した時点のファイルを記録する『駐車監視衝撃録画データ』の3種類があります。
- ・ お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P55)

### ■ 衝撃録画データ

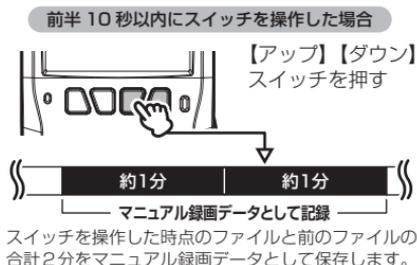
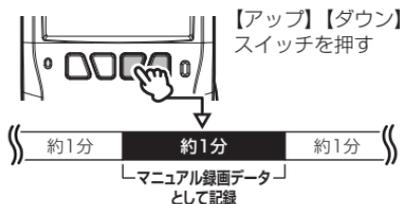
- ・ 本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後のデータも『衝撃録画データ』として記録されます。
- ・ G センサーの感度は設定により 4 段階で感度調整することができます。(⇒ P58)



# 映像を撮る

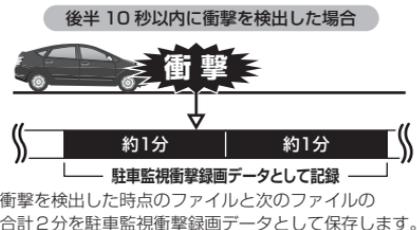
## ■マニュアル録画データ

- ・本製品の【アップ】【ダウン】スイッチのいずれかを押すと、スイッチを操作した時点のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。
- ・ただし1ファイルの前半10秒以内または後半10秒以内に、スイッチを操作した場合、前もしくは後のデータも『マニュアル録画データ』として記録されます。



## ■駐車監視衝撃録画データ

- ・駐車監視モード中に本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・ただし1ファイルの前半10秒以内または後半10秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後のデータも『駐車監視衝撃録画データ』として記録されます。
- ・駐車監視モード中のGセンサーの感度は設定により【低/中/高】の3段階で感度調整することができます。(⇒P65)



## microSDHC カードの容量による記録時間の目安

記録時間は microSDHC カードの容量、リヤカメラの録画サイズにより変動します。下記表を参考にしてください。(下記表は常時録画およびイベント録画を含めた時間です)

※ 対応 microSDHC カード：16GB～32GB (class10 推奨)

※ 本製品付属 microSDHC カード：32GB (class10)

※ メインカメラで保存する映像はすべてラウンドになります。

動作状態	microSDHC カード容量			
	16GB		32GB	
	約	イベント件数	約	イベント件数
メイン+リヤカメラ (FullHD)	約 55 分	約 5 件	約 110 分	約 10 件
メイン+リヤカメラ (HD)	約 60 分	約 6 件	約 120 分	約 12 件
メインカメラのみ	約 85 分	約 9 件	約 170 分	約 18 件

※ 太枠は付属 microSDHC カードを示します。

※ 本製品の初期設定は、リヤカメラの録画サイズが【Full HD】に設定されています。

※ 上記の記録時間・件数はあくまで参考値です。映像の明暗により記録時間は異なります。

※ 使用する microSDHC カードによっては上記録画時間と異なる場合があります。

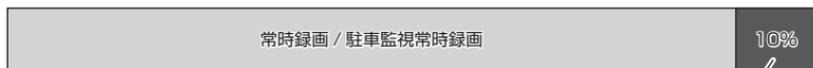
### ⚠ 注意

- 新しい microSDHC カードを使用する際は必ず本製品で SD カードの初期化 (⇒ P60) を行なってください。
- 市販の microSDHC カードを使用する場合は、必ず動作を確認 (⇒ P22～23) のうえ、ご使用ください。なお、付属品と別売オプション以外の microSDHC カードを使用する際の動作保証は致しかねます。
- microSDHC カードは消耗品であり、1日2時間程度使用する場合で約1年を目安に交換することをお勧めします。
- microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

# 映像を撮る

## 録画領域について

- ・お買い上げ時の付属 microSDHC カード全体の 90% を常時録画（駐車監視常時録画含む）、残り 10% をイベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画 / 駐車監視衝撃録画）の領域として設定されています。
- ・録画領域を変更することはできません。



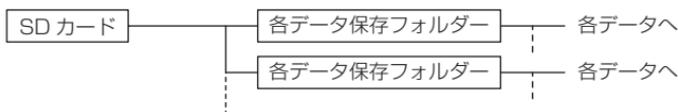
衝撃 / マニュアル / 駐車監視衝撃録画

- ※ 衝撃 / マニュアル録画データや駐車監視衝撃録画データがない場合は全て常時録画を記録します。

## 保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が記録したデータは、録画を開始した日付をもとにしたフォルダーが自動で作成され、そのフォルダー内に録画データの種類・時間をもとにしたファイル名で保存されます。

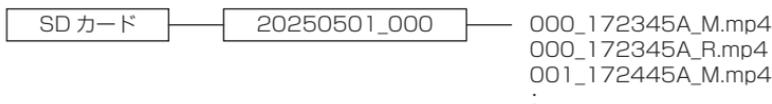
### ●フォルダー構成



### ●フォルダーおよびファイル名称は以下の内容で保存されます。

フォルダー名称	録画を開始した	年	月	日	000 ~ 999 まで 連番で保存
		YYYY	MM	DD	_□□□
ファイル名称	録画を開始した	時	分	秒	
		000	HH	MM	SS
	ファイル作成順				A
					M
					.mp4
					カメラ種別
					A : 常時録画データ
					G : 衝撃録画データ
					M : マニュアル録画データ
					P : 駐車監視常時録画データ
					S : 駐車監視衝撃録画データ
					M : メインカメラ
					R : リヤカメラ

例) 2025/05/01 17:23:45 に常時録画を開始した場合



### 👉 アドバイス

- ・データ保存フォルダーはメインカメラ 200 ファイルとリヤカメラ 200 ファイル保存された時点で新しいフォルダーが作成されます。また、設定メニューに入るなど、一時的に録画を停止した後に再開する際にも新しいフォルダーを作成します。
- ・メインカメラとリヤカメラの録画データのファイル名は数秒ズれる場合があります。

# 映像を撮る

## 電源を ON にする

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。



### アドバイス

#### microSD カードチェック機能

本製品では起動時に microSDHC カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

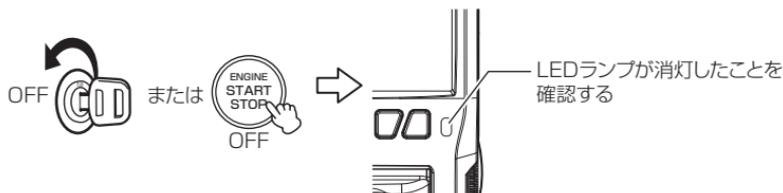
※対処方法に関しては P73 を参照ください。

#### MESSAGE

SD カードを  
確認してください。

## 電源を OFF にする

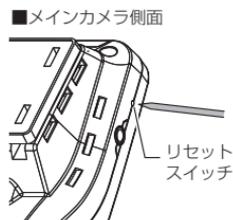
車両キースイッチを OFF にしてください。



## リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際はメインカメラのリセットスイッチを先の細い物で押して、システムを再起動してください。

※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。



## 液晶表示の切替えについて

- 【映像切替】 スイッチを押すと、[2分割] → [ラウンド] → [リヤカメラ] → [メイン+リヤ] → [メイン+リヤ+車内] の順に映像が切替ります。
- メインカメラ単体で使用する場合は、[2分割] → [ラウンド] の順に映像が切替ります。

※ メインカメラで保存する映像はすべてラウンドになります。

[2分割]



[ラウンド]



[メイン+リヤ+車内]



[リヤカメラ]



[メイン+リヤ]



※メインカメラ  
単体の場合

映像を撮る

# 映像を撮る

## 録画画面



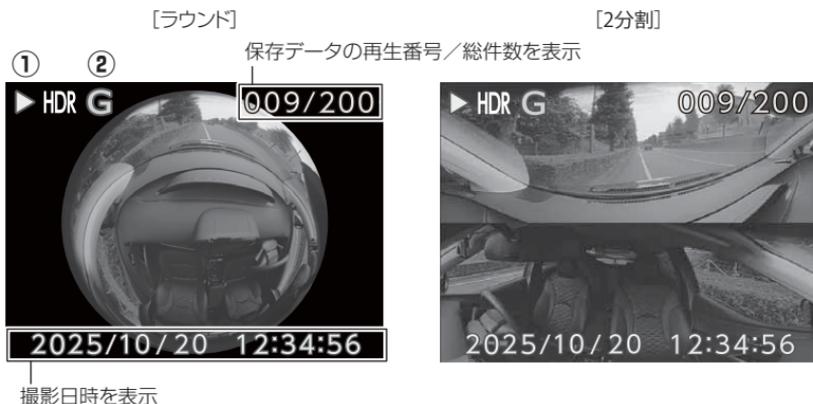
現在の日時を表示

自転車の走行速度を表示  
※GPS受信時のみ表示



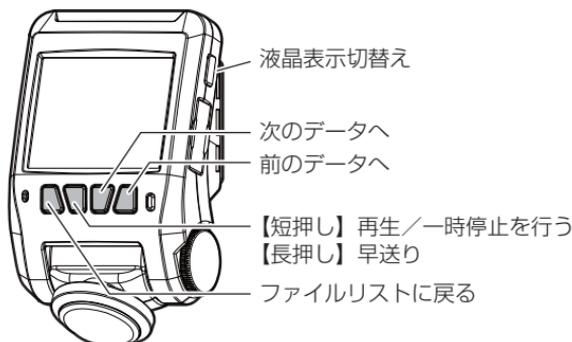
アイコン		表示内容
①	REC	録画状態を表示
②	HDR WDR	メインカメラの画質補正機能の設定を表示 (⇒ P56)
③	G M P PG	録画種類 (衝撃 / マニュアル / 駐車常時 / 駐車衝撃) を表示
④	GPS icons	GPS の受信状態を表示
⑤	Lock icons	上書き禁止の設定内容を表示 (⇒ P55)
⑥	Microphone icons	音声録音の設定内容 (ON/OFF) を表示(⇒ P55)
⑦	Full HD HD	リヤカメラの録画サイズの表示 (⇒ P56) ※リヤカメラ映像表示時のみ

## 再生画面



	アイコン	表示内容
①	▶    ▶▶	動作状態（再生／一時停止／早送り）を表示
②	G M P PG	録画種類（衝撃／マニュアル／駐車常時／駐車衝撃）を表示

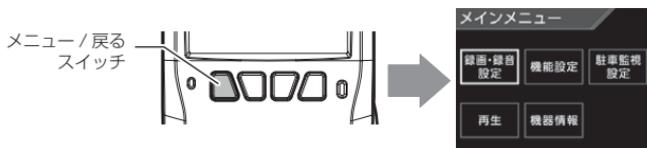
## ■再生画面での操作



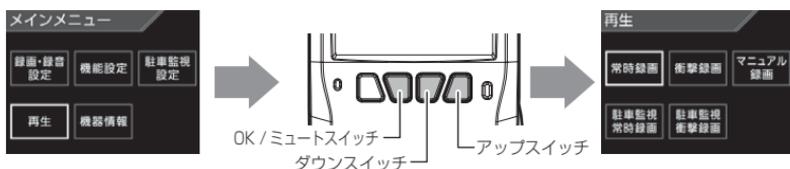
# 映像を見る

## メインカメラで映像を再生する

1. 【メニュー/戻る】を長押しし、メインメニューを表示する。

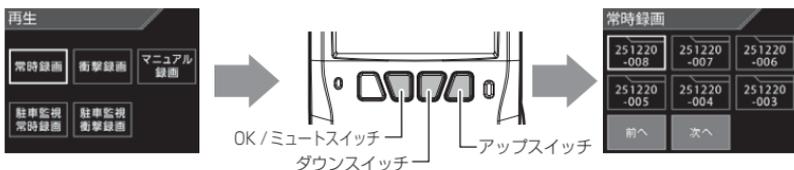


2. [再生]を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK/ミュート】を押す。



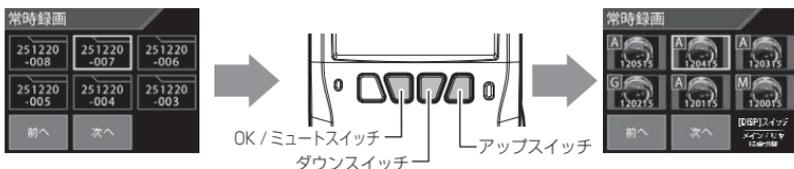
3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK/ミュート】を押す。

- [常時録画]..... 常時録画データを表示
- [衝撃録画]..... 衝撃検出による録画データを表示
- [マニュアル録画]..... スイッチ操作による録画データを表示
- [駐車監視常時録画]..... 駐車監視中の常時録画データを表示
- [駐車監視衝撃録画]..... 駐車監視中の衝撃検出による録画データを表示

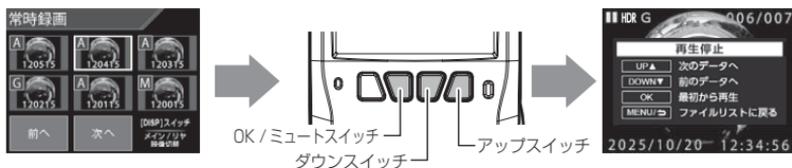


4. 見たいフォルダーを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK/ミュート】を押す。

※フォルダー名称、ファイル名称に関してはP29をご参照ください。



5. 見たいファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK / ミュート】を押すと案内画面を表示します。もう一度【OK / ミュート】を押すと再生が始まります。



6. 再生終了後は【メニュー / 戻る】を押し、設定画面から抜けることで録画画面に戻ります。

## 👉 アドバイス

### 映像の一時停止 / 早送り

- ・映像の再生中に【OK / ミュート】を短押しすると、再生中の映像が一時停止します。再度【OK / ミュート】を短押しすると映像の再生が再開されます。
- ・映像再生中に【OK / ミュート】を**長押し**すると、再生中の映像を早送りすることができます。早送りを解除するには【OK / ミュート】の短押しで一時停止 / 再生を行なってください。



OK / ミュートスイッチ

# 映像を見る

## ナビゲーションで映像を再生する

製品をビデオ入力端子を備えたナビゲーションや車載モニターと別売オプションの AV ケーブルで接続することで、メインカメラの液晶表示をナビゲーションや車載モニターに表示させることができます。

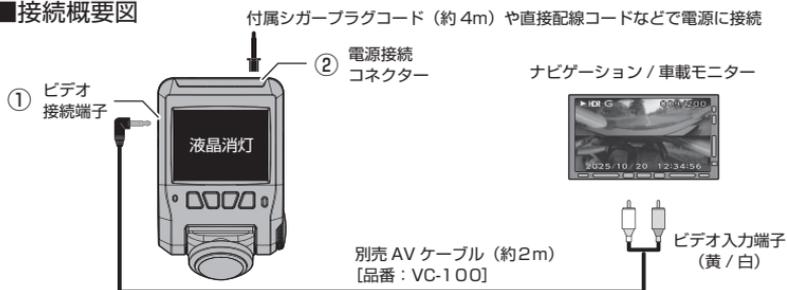
※ AV ケーブルを接続し車載モニターなどへ映像を出力した場合は、液晶表示設定 (⇒ P59) の設定内容にかかわらず車載モニターなどへ映像を表示します。

### △ 注意

電源が ON の状態で AV ケーブルの抜き差しを行わないでください。起動中に行うとメインカメラが再起動するなど、動作が不安定になります。必ず、電源 OFF 後 LED ランプが消灯したことを確認してから AV ケーブルの抜き差しを行なってください。

## 映像再生方法

### ■接続概要図



### ■再生方法

- 1) 別売 AV ケーブル (品番: VC-100) をメインカメラのビデオ接続端子へ接続します。(上図 ①)
- 2) 付属シガープラグコードや別売直接配線コードなどをメインカメラの電源接続コネクタへ接続します。(上図 ②)
- 3) P34,P35 の手順に従い、記録した映像を再生してください。  
(接続したモニターへ映像が表示されます。\*メインカメラ画面の表示は行いません)

## 市販の AV ケーブルを使用する場合

本製品で使用出来る AV ケーブルの 4 極ミニプラグ端子の仕様は、下記のイラストのようになっています。

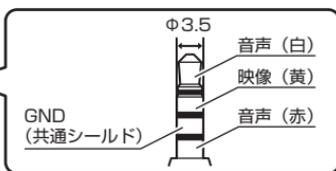
使用する際は必ず、下記仕様に沿った AV ケーブルを使用してください。

RCA 端子



※本製品はモノラル音声のため、音声 (赤) は使用しません。

4 極ミニプラグ端子



## パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、弊社ホームページの専用ビューワソフトを使用することで、メインカメラで撮影された映像の視点を移動したり、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。

また録画データは MP4 ファイルで保存されているので、Windows Media Player などで再生することができます。

※メインカメラで保存する映像はすべてラウンドとなります。

### ビューワソフトを使用する前に下記の内容をご確認ください

- ・お持ちのパソコンに Microsoft DirectX(R) 9.0c がインストールされていない場合は、DirectX(R) 9.0c End-User Runtime のインストールが必要になります。
- ・DirectX(R) 9.0c 以降に対応するグラフィックス機能（GPU、内蔵グラフィックス）が必要になります。

### 👉 アドバイス

- ・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。  
OS：日本語版 Windows 7 / 8.1 / 10  
CPU：Core i5 プロセッサ 2.7GHz 同等以上を推奨  
グラフィックス：intel HD Graphics 620 同等以上を推奨  
メモリー：8GB 以上を推奨  
画像解像度：FWXGA（1366 × 768 ピクセル）以上を推奨  
※ビューワソフトが正常に動作しない場合は動作モードを切替えてご使用ください。  
（⇒P45）  
※ Internet Explorer がインストールされていないと正常に動作しない事があります。
- ・ビューワソフトは弊社ホームページ（<https://www.e-comtec.co.jp/>）よりダウンロードすることができます。また、パソコンの OS アップデートによりビューワソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。  
※最新版のビューワソフトが公開されている場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。（インターネット接続時のみ）

# 映像を見る

## ビューソフトを使用する前に

- 1) 車両キースイッチを OFF 後、microSDHC カードカバーを開け、microSDHC カードのアクセスランプ(橙)が消灯したことを確認し、microSDHC カードを取り出します。

- ※ 駐車監視モード中は P64 を参考に取出しを行なってください。
- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
- ・ アクセスランプ点灯中に引き抜くと録画データが破損し、ビューソフトが起動しなくなります。その場合、パソコンで最後の動画（破損データ）を削除してください。



- 2) カードリーダーなどを使用し、パソコンへ挿入します。

- ※ microSDHC カードに対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識できません。



### ⚠ 注意

- ・ microSDHC カードを取り出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- ・ microSDHC カード内に本機以外のデータを入れしないでください。データが正常に読み取れなくなるとビューソフトが起動しなくなります。

- 3) 弊社ホームページ (<https://www.e-comtec.co.jp/>) よりビューワソフトをダウンロードします。



HDRviewer360W.zip  
(ダウンロードしたファイル)

### アドバイス

microSDHC のカード内のショートカットファイル [HDR360GW\_360GS\_Viewer\_download] をダブルクリックすると簡単にページを開けます。  
ビューワソフトダウンロードページ  
([http://www.e-comtec.co.jp/O\\_recorder/viewer/HDRviewer360W/viewer.html](http://www.e-comtec.co.jp/O_recorder/viewer/HDRviewer360W/viewer.html))

- 4) ダウンロードしたファイルを展開します。



HDRviewer360W.zip  
(ダウンロードしたファイル)



HDRviewer360W フォルダ  
(展開してできたフォルダ)

- 5) 4) で展開したフォルダ内にあるビューワソフト [HDRviewer360W.exe] をダブルクリックし、ビューワソフトを起動します。



HDRviewer360W.exe  
HDRviewer360W.exe  
COMTEC

- 6) 初回起動時に動作モードの選択画面が表示されます。お手持ちの製品に合わせて選択してください。



# 映像を見る

- 7) ⑮フォルダーリストから再生したいフォルダーを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。

## ■再生画面



## 👉 アドバイス

- ・ビューワソフト起動時、本製品のファームウェアの更新データがある場合、更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ) その際は画面表示および弊社ホームページの手順に従い、ファームウェアの更新を行ってください。
- ・映像の再生中に microSDHC カードをパソコンから取り出すとビューワソフトが正常に終了しなくなります。必ずビューワソフトを終了させてから microSDHC カードの取り出しを行ってください。

①	メインカメラ撮影動画を表示 ※動画上で以下の操作をすることができます。 [ダブルクリック] 全画面を表示、もう一度ダブルクリックすると通常表示に戻る。 [右クリック] 操作ボタンリストを表示。 [ドラッグ] 動画の視点を移動。(⇒P42)	⑳ 【スロー】ボタン 再生速度を 1/2 にする ※早送りボタンで通常再生に戻ります
②	現在の再生位置を表示	㉑ 【早送り】ボタン 早送り再生を行う ※再度押すと 2 倍速から 4 倍速に切替え、スロー再生で通常再生に戻ります
③	映像の再生速度を表示	㉒ 【次】ボタン 現在再生中の 1 つ次のファイルに進む
④	加速度を数値で表示。 またチェックボックスの ON/OFF で加速度グラフへの表示 / 非表示を選択	㉓ 【静止画】ボタン 押した時点の映像を静止画 (jpeg) で 1 枚のみ保存する
⑤	再生データの録画日時を表示	㉔ 【結合】ボタン 選択した録画データを結合し、1 つのファイルとして保存と動画共有サイト向けアップロード変換を行う
⑥	自車の走行速度を表示	㉕ 【拡大】ボタン ボタンを押すと拡大モードに移行し、画面をクリックした部分を 2 倍または 3 倍に拡大する ※画面をクリックするたびに切替え ※再度ボタンを押すと拡大モードを終了する
⑦	リヤカメラの録画サイズを表示	㉖ 【表示モード切替】ボタン 画面表示を 4 パターンから切替
⑧	録画データの録音設定内容を表示	㉗ 【映像反転】ボタン メインカメラ映像の上下反転
⑨	GPS の受信状態を表示	㉘ 【正像 / 鏡像】ボタン リヤカメラの映像の正像 / 鏡像を切替える
⑩	【視点】ボタン 16:9 を表示している場合、撮影動画の視点を移動できます。中心のリセットボタンを押すと初期位置に戻ります。 ※パノラマは左右のみ移動可能	㉙ 【マップ表示切替】ボタン ボタンを押すことにマップの表示と非表示を切替えます。
⑪	加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示 緑線.....前後の加速度の差分 赤線.....左右の加速度の差分 紫線.....上下の加速度の差分 【G】.....衝撃を検出した場所 【M】.....スイッチ操作を検出した場所 【P】.....駐車監視中に衝撃を検出した場所	㉚ 【参照】ボタン 録画データの参照先を変更する
⑫	最小化ボタン	㉛ 【削除】ボタン ファイルリストで選択したデータを削除する
⑬	映像の表示サイズを切替える (小 / 中 / 大の 3 段階)	㉜ 【設定】ボタン ビューソフトの表示設定、動作モードの設定およびバージョン情報の表示を行う
⑭	ビューソフトを終了する	㉝ 【CSV】ボタン 録画データをリスト化し、CSV 形式で出力する (⇒P44)
⑮	現在表示しているフォルダーの場所を表示	㉞ 【メイン / リヤ切替】ボタン ※フルモード時は非表示 シングルモードとライトモード設定時にメインカメラとリヤカメラの表示を切替えます (⇒P45)
⑯	選択したフォルダー内のファイル数を表示	㉟ ビューソフトの音量を変更する
⑰	各映像種類のチェックボックスの ON/OFF で、ファイルリストへの表示 / 非表示を選択	㊱ リヤカメラ撮影動画を表示 ※ウィンドウ表示位置の移動可
⑱	録画データのフォルダーリストおよび各フォルダーに記録されている映像種類をアイコンで表示 (⇒P43)	㊲ リヤカメラ映像の表示サイズを切替える (小 / 中 / 大の 3 段階)
⑲	録画データのファイルリストを表示	㊳ Google マップを表示 ※ GPS 未受信状態での記録映像、インターネット未接続時はロゴを表示
㉑	【先頭】ボタン 現在再生中の動画の最初に戻る	
㉒	【前】ボタン 現在再生中の 1 つ前のファイルに戻る	
㉓	【再生 / 一時停止】ボタン 再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる	

# 映像を見る

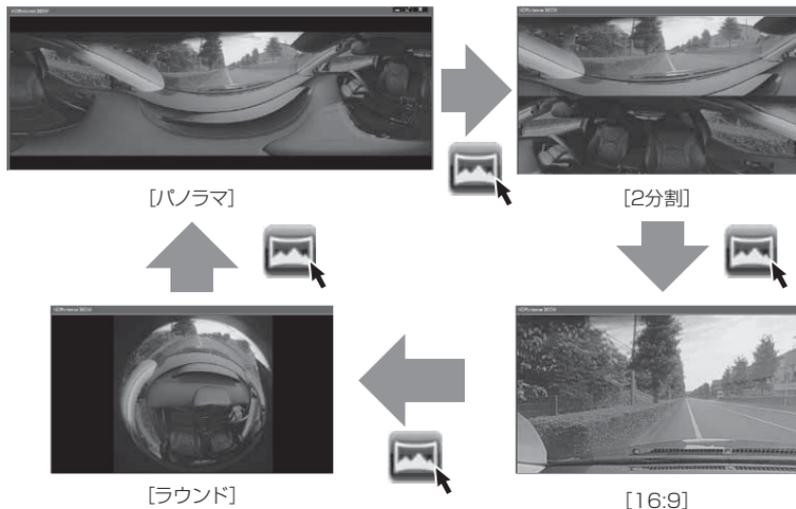
## 表示切替えについて

表示する映像を4種類から選択することができます。

【表示モード切替】ボタンを押すたびに切替ります。

※ ライトモードに設定すると制限される項目があります。(⇒ P45)

### ■表示切替え順



### 🖱️ アドバイス

- ・ [パノラマ] は、マウスを撮影画面上でドラッグ操作、または【視点】ボタンで映像の視点を左右に移動することができます。
- ・ [16:9] は、マウスを撮影画面上でドラッグ操作、または【視点】ボタンで映像の視点を移動することができます。

## 映像反転について

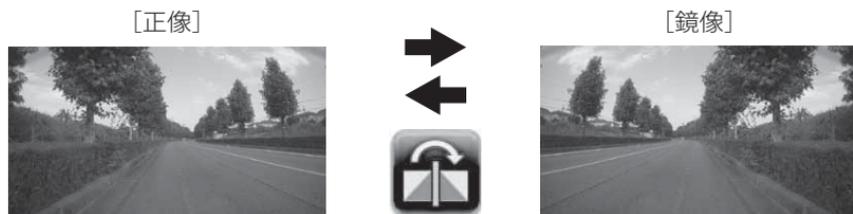
ビューワソフトの【映像反転】ボタンを押すことで映像を上下反転することができます。

※ リヤカメラの映像は反転しません。



## リヤカメラ映像の正像 / 鏡像について

- ・ビューワソフトの【正像 / 鏡像】 ボタンを押すことで映像を正像か鏡像に切り替えることができます。
- ・鏡像に設定することでバックミラーで後方を確認したような映像を記録できます。



## 録画ファイルエリアについて

表示しているフォルダーを選択することで他の動画を再生することができます。

### ■ファイルエリア

現在表示しているファイルの場所を表示

G:\¥20250501\_003

4個

選択中のフォルダー内のファイル数を表示

チェックボックスのON/OFFを行うことで表示/非表示を選択

<input type="checkbox"/>	常時	<input checked="" type="checkbox"/>	衝撃	<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル	<input checked="" type="checkbox"/>	駐車	<input checked="" type="checkbox"/>	駐車監視
■	20250501_000	000_123456_A							
■	20250501_001	001_123556_A							
■	20250501_002	002_123656_A							
■	20250501_003	003_123756_A							
■	20250501_004								
■	20250501_005								

フォルダー内に記録されているイベントデータを表示

<input type="checkbox"/>	常時録画データのみ表示
<input checked="" type="checkbox"/>	衝撃録画データを表示
<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル録画データを表示
<input checked="" type="checkbox"/>	駐車監視常時録画データを表示
<input checked="" type="checkbox"/>	駐車監視衝撃録画データを表示

# 映像を見る

## CSV 出力について

録画データの [ファイル名1 / ファイル名2 / 日付 / 開始時刻 / 録画時間 / 録画トリガー / リヤ録画サイズ / フレームレート / メインカメラデータサイズ / リヤカメラデータサイズ] をリスト化して CSV 形式で出力します。

## 加速度グラフ設定について

- 1) ビューワソフトの【設定】ボタンを押す。



- 2) [駐車監視衝撃] のチェックボックスを ON/OFF することで、加速度グラフへ表示または非表示にすることができます。



## 動作モード設定について

ビューワソフトが正常に動作しない場合は、動作モードの設定を変更することで、パソコンへの負荷を軽減し録画データを確認することができます。

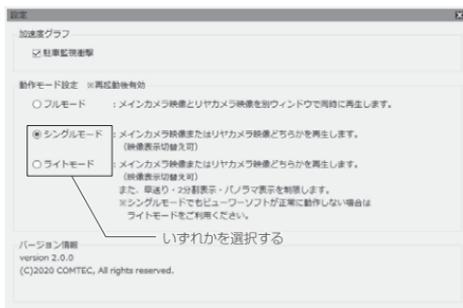
※ シングルモードでもビューワソフトが正常に動作しない場合はライトモードをお試しください。

動作モードにより制限される機能	
シングルモード	・メインカメラ/リヤカメラ同時再生
ライトモード	・メインカメラ/リヤカメラ同時再生 ・早送り ・2分割/パノラマ表示

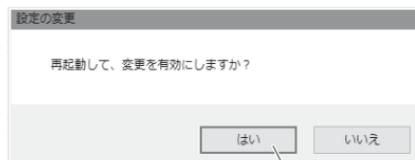
1) ビューワソフトの【設定】ボタンを押す。



2) [シングルモード]または[ライトモード]どちらかにチェックを入れます。



3) 【はい】を押すと、自動的にビューワソフトの再起動を行い設定を反映します。



【はい】を押す

# 映像を見る

## パソコンで録画データを保存 / 削除する

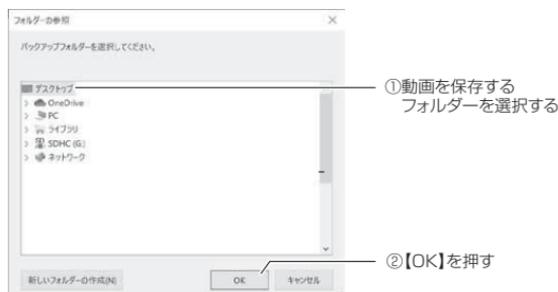
ビューワソフトの【結合】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データの連結または静止画で保存することができます。

また、【削除】ボタンを押すことで、録画データを選択して削除することもできます。

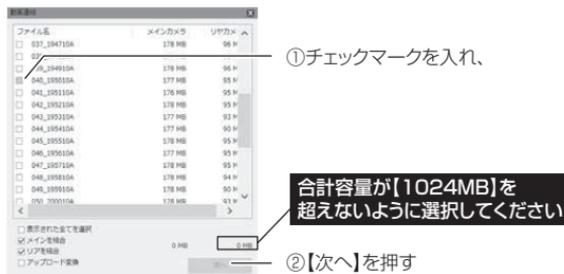
### 録画データを連結して保存する

- ・本製品で記録した録画データを連結して1つのファイルとして保存することができます。
  - ・動画の連結はSDカード内の連続したデータのみ保存する事ができます。
  - ・最大で1GB(1024MB)まで連結することができます。ただし1GB以内でも、100ファイルを超えて連結することはできません。
- ※連結を行なった録画ファイルは色付けされます。

- 1) ビューワソフトの【結合】ボタンを押し、動画を保存するフォルダーを指定して【OK】を押す。



- 2) 保存したいファイルにチェックマークを入れ【次へ】を押す。



すでにパソコンに保存されている録画データは結合できません。

## 録画データを動画共有サイト向けに変換する

- ・ビューワソフトの【結合】ボタンから【アップロード変換】を選択することで、メインカメラの録画データを動画共有サイト向けデータに変換することができます。
- ・またアップロード変換時に任意の場所にモザイク処理を行うことができます。
- ・最大で1GB（1024MB）まで変換することができます。ただし1GB以内でも、100 ファイルを超えて変換することはできません。

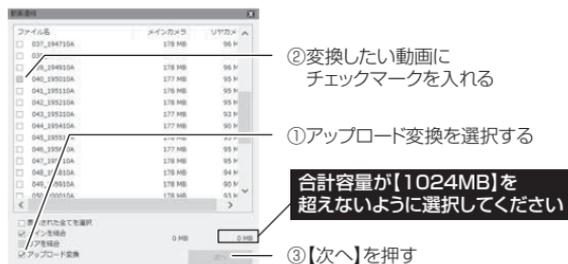
※ リヤカメラの録画データの変換は行いません。

※ 変換を行うことで録画データの画質が低下します。

- 1) ビューワソフトの【結合】ボタンを押し、動画を保存するフォルダーを指定して【OK】を押す。

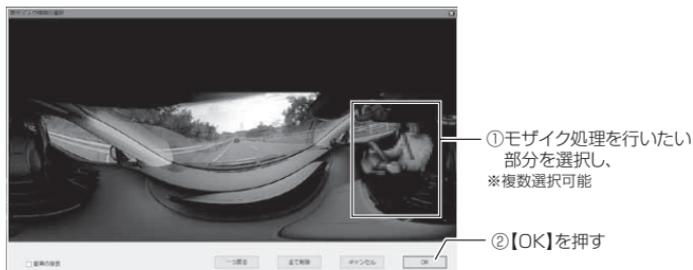


- 2) 【アップロード変換】を選択して、変換したい動画にチェックマークを入れ【次へ】を押す。



# 映像を見る

3) モザイク処理を行いたい部分を選択して【OK】を押す。



4) 変換が終了すると、モザイク処理を行い動画共有サイト向けデータとして変換されます。

## 👉 アドバイス

- ・パソコンに保存した録画データから【アップロード変換】を行う場合は、ビューワの【結合】ボタンは右のアイコンになります。この場合は、パソコンに保存した録画データは結合できません。(⇒P46)
- ・アップロード変換後のファイル名称は以下の内容で保存されます。



例) Y M 02 \_009\_190711G\_M.mp4

↑ 連結した数

Y : アップロード変換  
J : 結合

M : メインカメラ動画  
R : リヤカメラ動画  
B : メインカメラ動画とリヤカメラ動画を同時に結合した場合

動画共有サイトへ投稿する場合、各動画共有サイトの仕様に従い再変換を行なってください。弊社では各動画共有サイト用の変換についてのサポートは行なっていません。あらかじめご了承ください。

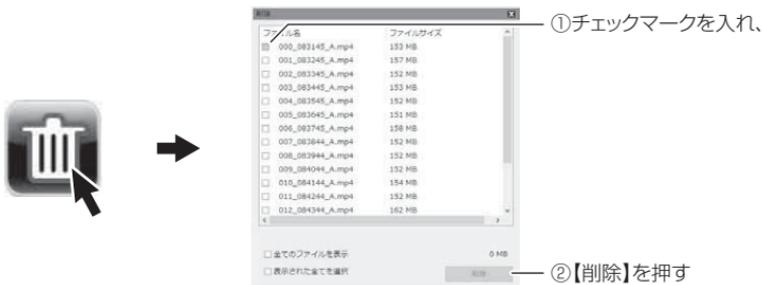
## 録画データを静止画で保存する

ビューソフトの【静止画】ボタンを押し、静止画の保存先を選択し、【OK】を押す。



## 録画データを削除する

ビューソフトの【削除】ボタンを押し、削除したいファイルにチェックマークを入れ、【削除】ボタンを押す。



# 映像を見る

## 地図表示について

- Google マップはインターネット接続時および GPS の位置情報がある場合に表示されます。
- 地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル録画検出の位置が表示されます。
- GPS の受信状況により、走行軌跡が地図上の道路からズレることがあります。あらかじめご了承ください。
- セキュリティソフトによりインターネットアクセスがブロックされている場合、地図は表示できません。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。その際は弊社ホームページより最新版のビューソフトをダウンロードしてご使用ください。  
※ 変更内容により対応できない場合があります。



### 《表示内容》

アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃検出 アイコン		マニュアル録画 検出アイコン

ビューソフトの【マップ表示切替】ボタンを押すと地図の表示・非表示を切替える事ができます。



### 👉 アドバイス

- 地図上の検出位置アイコンをクリックすると映像の再生位置がアイコンの場所に移動します。
- ストリートビューでもアイコンは表示されますが、映像再生中の地図の移動はできません。

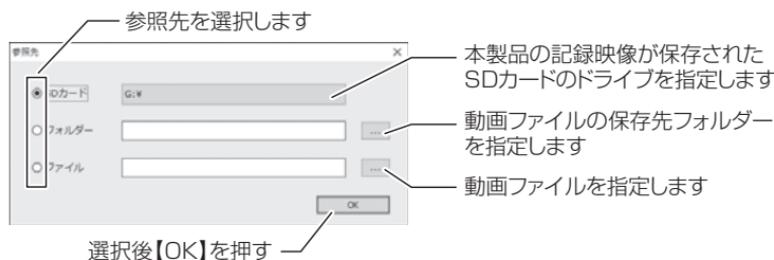
※ Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

## 保存ファイルを開く

- 1) ビューワソフトの【参照】ボタンを押します。



- 2) 参照先を指定することで、ドライブやフォルダーに保存した動画を  
確認することができます。



### アドバイス

- ・パソコンに保存したデータ (MP4 ファイル) を参照する際は、【フォルダー】または【ファイル】を選択してください。
- ・本製品で初期化した microSDHC カードのみ、【SD カード】を選択してSDカードのドライブを指定することでデータを確認することができます。

## ファームウェアを更新する

弊社ホームページよりファームウェアソフトをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

### アドバイス

- ・更新ソフトがある場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)
- ・更新方法の詳細はホームページをご確認ください。ただし更新ソフトがない場合、掲載はありません。

# 設定

## 設定方法

本製品のシステム設定は、メインカメラのメインメニューから変更を行うことができます。

### 設定画面での操作方法

例：録音の設定を【OFF】に設定変更するには・・・

1. 【メニュー/戻る】を長押しし、  
【メインメニュー】を表示する。

※ 60 秒間スイッチ操作を行わない  
と録画画面に戻ります。



2. 「録画・録音設定」が選択されているので【OK/ミュート】を押す。



3. 「録音設定」が選択されているので【OK/ミュート】を押す。



4. 【ダウン】を1回押して【OFF】を選択し、【OK/ミュート】を押す。

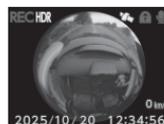
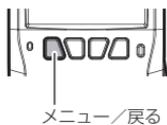


5. 『設定を変更しました』と表示されたことを確認する。



6. 【メニュー/戻る】を2回押し、設定モードを抜けると録画モードに戻ります。

※続けて別項目を設定することもできます。



## 設定内容一覧

## 録画・録音設定一覧

項目	設定内容	ページ	備考
録音	OFF / <b>[ON]</b>	P55	
上書き禁止	<b>[OFF]</b> / イベント / ALL	P55	
メインカメラ画像補正	<b>[HDR]</b> / WDR	P56	
リヤカメラ録画サイズ	<b>[Full HD (1920 × 1080)]</b> / HD (1280 × 720)	P56	リヤカメラ 接続時のみ 設定有効
リヤカメラ上下反転	<b>[標準]</b> / 反転	P57	
リヤカメラ鏡像	<b>[正像]</b> / 鏡像	P57	

## 機能設定一覧

項目	設定内容	ページ	備考
G センサー	OFF / LV.1 / <b>[LV.2]</b> / LV.3 / LV.4	P58	前後 / 左右 / 上下 すべて一括で設定
日時設定	年月日 時分	P21	
タイムスタンプ	<b>[OFF]</b> / ON	P58	
液晶明るさ	明るい / <b>[標準]</b> / 暗い	P59	
液晶表示	OFF / <b>[30 秒]</b> / 常時 ON	P59	
本体音量	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / <b>[5]</b> / 6 / 7 / 8 / 9 / 10	P59	
設定の初期化	—	P59	
SD カードの初期化	—	P60	
工場出荷状態に戻す	—	P60	

表内の **[太字]** は初期設定です。

# 設定

## 駐車監視設定一覧

項目	設定内容	ページ	備考
駐車監視モード	<b>[OFF]</b> / ON	P64	
停止電圧	12V 車 11.7V / 11.8V / 11.9V / 12.0V / 12.1V / <b>[12.2V]</b>	P64	車両電圧を認識し 自動で 12V/24V を切替えます。
	24V 車 23.4V / 23.6V / 23.8V / 24.0V / 24.2V / <b>[24.4V]</b>		
録画時間	30分 / <b>[1 時間]</b> / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 5 時間 / 6 時間 / 7 時間 / 8 時間 / 9 時間 / 10 時間 / 11 時間 / 12 時間 / 常時 ON	P64	
衝撃感度	高 / <b>[中]</b> / 低	P65	

表内の【太字】は初期設定です。

## 録画・録音設定

## 録音設定

- ・記録する映像に音声の録音を行うかを [OFF / ON] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。
- ・録音中に【OK / ミュート】スイッチを押すことで、録音設定の ON/OFF を一時的に切替えることができます。
- ・【OK / ミュート】スイッチ操作により設定を切替えたあと、再起動やメインメニューに入るなどした場合、本設定で選択した設定に戻ります。

## 上書き禁止設定

- ・録画データが microSDHC カード容量の上限まで達した場合の動作を、[OFF / イベント / ALL] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

設定		上限に達した場合	
		常時録画	イベント録画
OFF	 すべての録画データを上書きします。	上書きして録画を継続	
イベント	 イベント録画データのみ上書きされません。	上書きして録画を継続	録画を停止
ALL	 すべての録画データは上書きされません。	録画を停止	

# 設定

## メインカメラ画像補正設定

- ・本製品には HDR（ハイ・ダイナミック・レンジ）機能と WDR（ワイド・ダイナミック・レンジ）機能を搭載することにより、白とびや黒つぶれを補正した、よりくっきりした録画データを記録することができます。
- ・HDR に設定した場合、複数の明暗の違う画像を合成することで、白とびや黒つぶれを補正します。
  - ※ 画像は鮮明に見えますが、光などの影が二重に記録されます。
- ・WDR に設定した場合、明るい領域を保ちながら暗い領域の明るさを上げ、全体の明度を平均的に補正し記録を行います。
  - ※ HDR 機能に比べ、鮮明さは低くなりますが、より自然な色味で映像を記録します。
- ・お買い上げ時は【HDR】に設定されています。
  - ※ リヤカメラの画像補正は HDR 固定となります。

### アドバイス

#### 白とび / 黒つぶれとは

- 白とび……… 明るい部分が真っ白に映っている様子を言います。
- 黒つぶれ……… 暗い部分が真っ黒に映っている様子を言います。

## リヤカメラ録画サイズ設定

- ・記録する映像サイズを [Full HD(1920 × 1080) / HD(1280 × 720)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【Full HD (1920 × 1080)】に設定されています。

リヤカメラ接続時のみ有効になります。

## リヤカメラ上下反転設定

- ・リヤカメラで撮影する映像の上下方向を [標準 / 反転] から選択することができます。
- ・設置場所により [標準 / 反転] を変更してください。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。
- ※ 録画データも設定した内容で保存されます。

リヤカメラ接続時のみ有効になります。

## リヤカメラ鏡像設定

- ・リヤカメラで撮影する映像を [正像 / 鏡像] から選択することができます。
- ・【鏡像】に設定することでバックミラーで後方を確認したような映像を記録できます。
- ・お買い上げ時は【正像】に設定されています。
- ※ 録画データも設定した内容で保存されます。

### ■ 正像設定



後方を直接確認したような映像で記録

### ■ 鏡像設定



後方をバックミラーで確認したような映像で記録

リヤカメラ接続時のみ有効になります。

# 設定

## 機能設定

### G センサー設定

- ・衝撃を検出する感度を前後・左右・上下一括で [OFF / LV.1 (敏感) ~ LV.4 (鈍感)] から選択することができます。
- ・[OFF] に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- ・お買い上げ時は【LV. 2】に設定されています。運転状況に合わせて調整してください。

### 日時設定

- ・日時と日付表示形式の設定を行うことができます。
  - ・日付表示形式を [YYMMDD (年月日) / MMDDYY (月日年) / DDMMYY (日月年)] から選択することができます。
  - ・お買い上げ時は【YYMMDD】に設定されています。
- ※ GPS 衛星を受信すると自動的に日時を設定します。

### タイムスタンプ設定

- ・本設定を ON にすることで録画データに録画日時を埋め込むことができます。専用ビューワソフトを使用せずに、Windows Media Player などで再生する際にも録画日時を確認することができます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

- ・タイムスタンプ機能は録画しながら映像へ日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。
- ・ビューワソフトでは 16:9、パノラマ、2分割にすると、埋め込んだ日時は表示されません。

## 液晶明るさ設定

---

- ・液晶ディスプレイの明るさを [ 明るい / 標準 / 暗い ] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

## 液晶表示設定

---

- ・録画モード中の液晶ディスプレイの表示を [OFF / 30 秒 / 常時 ON] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【30 秒】に設定されています。

### ■設定内容

- [OFF] .....液晶ディスプレイの表示を行いません。【メニュー/戻る】スイッチを押した時のみ、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
- [30 秒] .....起動時およびメインカメラ操作を行なった後、30 秒経過すると液晶ディスプレイを消灯します。
- [常時 ON] .....液晶ディスプレイを常に表示します。

## 本体音量設定

---

- ・本製品の確認音や再生時の音量を [OFF / 1 ~ 10] の 11 段階から選択することができます。
  - ・お買い上げ時は【5】に設定されています。
- ※ 音量を OFF に設定するとメッセージ音も OFF になります。

## 設定の初期化

---

- 本製品の設定情報のみを初期化し、出荷時の設定に戻します。
- ※ SD カード内の記録映像は保持されます。

# 設定

## SD カードの初期化（録画データの消去）

- ・ microSDHC カードの録画データのみを消去します。  
※ 設定情報は保持されます
- ・ 新しい microSDHC カードや、付属以外の microSDHC カードを使用する場合は、必ず SD カードの初期化を行なってください。

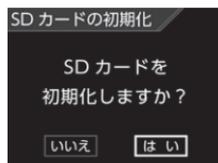
- ・ SD カードの初期化を行うと、録画データがすべて消去されます。録画データが必要な場合は初期化前にバックアップを行なってください。
- ・ 安定してご使用いただくため、定期的に SD カードの初期化を行うことをおすすめします。

### ■初期化方法

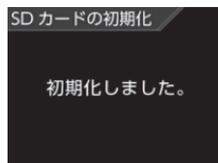
1) P52 の設定画面での操作方法を参考に  
メインメニュー内の機能設定から  
SD カードの初期化を選択する。



2) SD カードの初期化 確認画面で、【アップ】で  
【はい】を選択し、【OK / ミュート】を押す。



3) microSDHC カードが初期化されます。



## 工場出荷状態に戻す（オールリセット）

本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。

### ⚠ 注意

消去したデータを復元することはできません。

リヤカメラを外して使用する際は、リヤカメラを外した後に【工場出荷時状態に戻す】を行なってください。

## 機器情報

本製品の情報を表示します。

### 機器情報

バージョン : Ver. 8.8.8

入力電圧 : 88.8v

リヤカメラ : 接続

## バージョン

本製品ファームウェアのバージョンを表示します。

## 入力電圧

本製品への入力電圧を表示します。

## リヤカメラ

リヤカメラの接続状態を表示します。

機器情報を表示中にリヤカメラを抜き挿ししてもリヤカメラ接続状態は更新されません。

# 駐車監視モードを使用する（オプション）

## 駐車監視モードについて

- 別売オプションのHDROP-14『駐車監視・直接配線コード』を使用することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
- HDROP-14『駐車監視・直接配線コード』を接続後はメインメニューより【駐車監視モード】の設定（⇒P64）を変更してください。HDROP-14『駐車監視・直接配線コード』を接続しただけでは駐車監視モードに移りません。
- 別売のHDROP-15『直接配線コード』で接続しても駐車監視モードを使用することはできません。

### ⚠ 注意

- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。（毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している）
- 駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行なってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 長時間録画を行う場合、microSDHC カードの容量やメインカメラの設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

## 駐車監視・直接配線コードを取付けたら

【メニュー/戻る】を**長押し**し、【メインメニュー】→【駐車監視設定】→【停止電圧設定】を表示します。現在の入力電圧が表示されますので、テスターなどを使用して常時電源接続箇所の電圧と入力電圧の数値に大きな差がないことを確認します。



### 👉 アドバイス

- 常時電源の接続ポイントと電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアースポイントの変更を行なってください。
- 表示される数値はあくまでも参考値となります。メインカメラの設定内容によっても表示誤差は発生します。
- 電源配線のカットまたは延長は、表示数値の誤差が大きくなりますのでおやめください。

## 駐車監視モードの動作について

駐車監視モード中は通常時と一部動作が異なります。下記内容をご確認ください。

- ・ 駐車監視モード中のフレームレートは 5fps 固定となります。
- ・ 駐車監視モード作動時は設定モードに入ることはできません。
- ・ 駐車監視モード中に乗り降りするとその際の衝撃により記録を行う場合があります。

## 駐車監視モードに移行する

- ・ [駐車監視モード] 設定を ON に設定し、車両キースイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。
- ・ 右記のメッセージを 30 秒表示後、録画面面を 30 秒表示を行ってから液晶を消灯します。
  - ※ 30 秒間のメッセージ画面表示後に衝撃を検知すると駐車監視衝撃録画を行います。
- ・ 駐車監視モード動作中は LED ランプが緑 3 回早点滅を繰り返します。
- ・ 駐車監視モード中の常時録画データは『駐車監視常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車監視衝撃録画』データとして記録されます。

■ 駐車監視モード動作中



緑 3 回早点滅

## 駐車監視モードを終了する

- ・ 駐車監視モードは車両キースイッチが ACC または ON になった時点や各スイッチを押すことで終了させることができます。
- ・ 停止電圧設定以下になった際や駐車監視録画時間設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。

### ■ 駐車監視モードを手動で終了する場合

車両キースイッチを ACC または ON にする

いずれかのスイッチを押す



### ■ 駐車監視モードが自動的に終了される場合

車両バッテリーの電圧が低下する

設定した録画時間を経過する

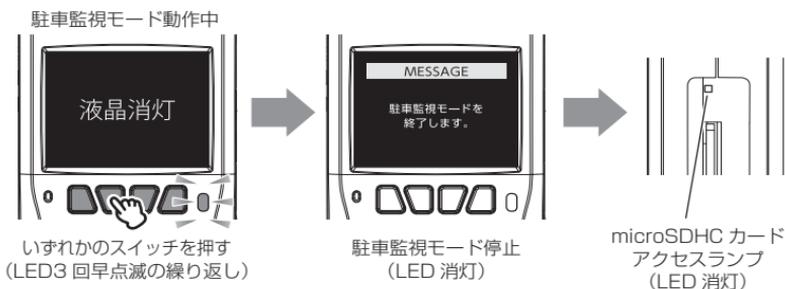


駐車監視モード  
を使用する

# 駐車監視モードを使用する（オプション）

## 駐車監視モード作動中の microSDHC カードの取り出し方

駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしても本製品は動作しています。そのため microSDHC カードを抜く際は、いずれかのスイッチを押して駐車監視モードを終了後、microSDHC カードアクセスランプが消灯したことを確認し、microSDHC カードを抜いてください。



## 駐車監視モードの各種設定

### 駐車監視モード設定

- ・駐車監視モードの設定を [OFF / ON] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

### 停止電圧設定

- ・駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を 12V/24V 車両それぞれ 6 段階から選択できます。
  - ・お買い上げ時は 12V 車両は【12.2V】 24V 車両は【24.4V】に設定されています。
- 12V 車両..... [11.7V / 11.8V / 11.9V / 12.0V / 12.1V / 12.2V]  
24V 車両..... [23.4V / 23.6V / 23.8V / 24.0V / 24.2V / 24.4V]

### 録画時間設定

- ・駐車監視モードの動作時間を [30 分 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 5 時間 / 6 時間 / 7 時間 / 8 時間 / 9 時間 / 10 時間 / 11 時間 / 12 時間 / 常時 ON] から選択できます。
- ・【常時 ON】に設定すると、車両バッテリー電圧が [停止電圧設定] で設定した電圧に低下するまでの間、動作を行います。
- ・お買い上げ時は【1 時間】に設定されています。

### 衝撃感度設定

- ・駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を[低/中/高]から選択できます。
- ・お買い上げ時は【中】に設定されています。

### 駐車監視モードでの記録時間の目安

記録時間は microSDHC カードの容量により変動します。下記表を参考にしてください。

- ※ フレームレートは 5fps 固定になります。
- ※ 下記表は駐車監視録画のみの時間です。
- ※ 対応 microSDHC カード：16GB ~ 32GB（class10 推奨）
- ※ 本製品付属 microSDHC カード：32GB（class10）
- ※ メインカメラで保存する映像はすべてラウンドとなります。

動作状態	microSDHC カード容量	
	16GB	32GB
メイン+リヤカメラ（FullHD）	約 425 分	約 850 分
メイン+リヤカメラ（HD）	約 495 分	約 990 分
メインカメラのみ	約 950 分	約 1,900 分

# 駐車監視モードを使用する（オプション）

## 駐車監視モードについてのご質問

### Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

- A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード設定中でも [録画時間] 設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が [停止電圧] 設定以下になると、駐車監視モードを終了します。  
※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード中にメインカメラの使用温度範囲を超えた場合、録画を停止する場合があります。あらかじめご了承ください。

### Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

- A. 1. [駐車監視モード] 設定が **[ON]** に設定されていることをご確認ください。  
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、車両バッテリーの電圧が [停止電圧] 設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。  
3. 駐車監視・直接配線コードの常時電源線を、車両 ACC 線へ接続していると駐車監視モードへは移行しません。

### Q. 駐車監視モードを使用せず、走行中のみ録画したい

- A. [駐車監視モード] 設定を **[OFF]** に設定してください。

### Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

- A. 駐車監視モード作動中はメインカメラの LED ランプが下記点滅を繰り返します。

状態	LED ランプ
駐車監視モード作動中	緑 3 回早点滅
駐車監視モード作動中に衝撃を検出	緑点滅

### Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

- A. 1. 駐車監視モード中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。  
2. リヤガラスがプライバシーガラスになっている場合、夜間の記録映像は特に見えにくくなります。

## 補償サービスについて

本製品には万が一の事故に遭われた際にお見舞金として登録から1年間、一律2万円を補償する補償サービスが付いています。

補償サービスを受ける場合下記手順に従い、登録、申請を行なってください。

### 1. 加入者リストへ登録する

本製品購入後、**1ヶ月以内**に弊社HPにて補償サービスを申し込み、加入者リスト登録を行なってください。

※ **1ヶ月以内に登録しなかった場合、補償サービスは受けられません。**

補償サービス登録ページ URL :

<https://www.e-comtec.co.jp/hosyou/recorder/index.html>

### 2. 事故に遭われた場合の申請方法

- 1) 下記必要書類を揃え、事故日より**2ヶ月以内**に弊社サービスセンターまで送付します。**当日消印有効**

※ **2ヶ月以内に送付しなかった場合や補償サービス提供期間前の事故は、補償サービスは受けられません。**

- ・ ドライブレコーダー補償サービス利用依頼書（弊社HPよりダウンロード）
- ・ 警察の発行する事故証明書
- ・ 対象車両の修理見積書（事故後の見積発行日より**2ヶ月以内**）
- ・ 本製品の事故映像データまたは対象車両に本製品が装着されていたことがわかる資料（車種、ナンバーがわかる写真など）

- ・ 事故映像データは、付属 microSDHC カードまたはビューワソフトにて保存された動画データを CD-R や DVD-R などの記録メディアにコピーしてお送りください。
- ・ お送り頂いた書類、microSDHC カードや記録メディアなどの返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

- 2) 弊社にて書類を受付確認後、『ドライブレコーダー補償サービス利用依頼書』に記載していただいた口座へお見舞金を振り込ませていただきます。

### 👉 アドバイス

#### 補償サービスの更新について

本補償サービスは登録から1年間有効です。また2年目からは有料で更新することができます。（1年ごとの更新。最長3年間）

ただし、一度でも補償サービスを受けられた場合は、更新を行うことができません。詳しくは弊社ホームページをご確認ください。

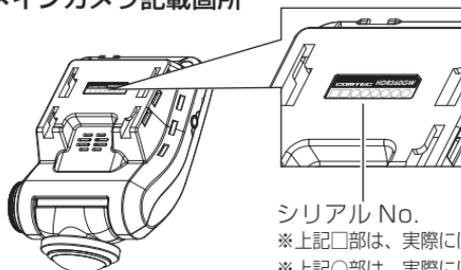
# 補償サービス

## 👉 アドバイス

### 本製品のシリアル No. 記載場所

補償サービスへ申し込む際に、パッケージまたは本製品に記載のシリアル No. を記入する必要があります。未記入の場合や誤った内容を記入されていた場合、補償サービスが受けられなくなりますので、間違いの無いようご注意ください。

#### ■メインカメラ記載箇所

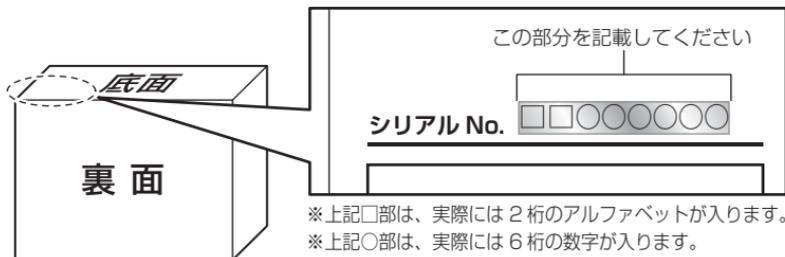


シリアル No.

※上記□部は、実際には2桁のアルファベットが入ります。

※上記○部は、実際には6桁の数字が入ります。

#### ■パッケージ記載箇所



※上記□部は、実際には2桁のアルファベットが入ります。

※上記○部は、実際には6桁の数字が入ります。

## ドライブレコーダー補償サービス約款

### 第1条（本規約の適用範囲）

この約款（以下「本約款」といいます。）は、株式会社コムテックが提供する第4条（本サービスの内容）所定の補償サービス加入者リストに登録し、事故等の時点で利用しているお客様をいいます。

### 第2条（定義）

1. 「加入者様」とは、株式会社コムテックが販売するドライブレコーダーを購入し、所定の方法で株式会社コムテックの補償サービス加入者リストに登録し、事故等の時点で利用しているお客様をいいます。
2. 「本サービス」とは、株式会社コムテックが加入者様に提供するドライブレコーダーの補償サービスをいいます。

### 第3条（本サービスの対象自動車）

本サービスの対象となる自動車（以下「対象自動車」といいます。）は、株式会社コムテックのドライブレコーダーを設置した自動車とします。

### 第4条（本サービスの内容）

1. ドライブレコーダーを購入した加入者様が、ドライブレコーダーを設置した対象自動車を損傷する車両事故に巻き込まれた場合に見舞金を支給します。ただし、警察の発行する事故証明が取得できる事故に限ります。  
●見舞金額：一律2万円
2. 本サービスの適用を受けるには、次の各号に該当しなければならないものとします。
  - (1) ドライブレコーダーを購入し、対象自動車に設置すること。
  - (2) 所定の方法で本サービス加入者リストに登録されること。
  - (3) 第2条第1項に記載の事項を満たしていること。
3. 加入者様が事故等により損害を被った対象自動車の修理を依頼し、かつ、「補償サービス利用依頼書」を株式会社コムテックに提出した場合に、加入者様は対象自動車に関して見舞金を受け取ることができます。
4. 本サービスを受けようとする場合、加入者様は次の資料を株式会社コムテックまで提出することとします。
  - (1) 補償サービス利用依頼書
  - (2) 警察が発行する事故証明書
  - (3) 対象自動車の修理見積（事故日、見積有効日より2ヶ月以内）
  - (4) ドライブレコーダーの事故映像データ
  - (5) 対象のドライブレコーダーが装着されていたことの方の資料  
※ (4)(5)は、いずれかの資料を提出してください。

### 第5条（本サービスの提供期間）

本サービスの提供期間は本サービス加入者リスト登録日から1年後の応当日まで（以下、サービスの期日といいますが）とします。また、本サービス加入者リスト登録日は次のいずれかの日とします。

- (1) Web経由にて登録する場合はWeb登録日の翌日0時から  
※原則、本サービス加入者リスト登録は製品の購入後1ヶ月以内に行わなければなりません。

### 第6条（本サービスの提供回数）

1. 本サービスの提供は、サービス提供期間中のいずれか1回の事故に限るものとし、複数回の事故による損傷をまとめて修理する場合でも1回の事故による損傷のみが本サービスの提供対象となります。
2. 本サービスの提供は、ドライブレコーダー1台に対し1回のサービスとさせていただきます。一度、サービスを受けた加入者様は自動的に加入者リストの登録を抹消させていただきます。また、サービスの更新もできないものとさせていただきます。

### 第7条（本サービスの更新）

1. 本サービスはmicroSDHCカードの購入に合わせて更新することができます。ただしサービスを受けた場合には、それ以降の更新は一切できないものとします。
2. 本サービスの更新は、最初の登録を含め3回までとします。
3. 更新の申込みはサービスの期日から前後1ヶ月以内に第5項の手続きをしてください。
4. 更新後の期日はサービスの期日からさらに1年後の応当日まで更新するものとします。
5. 更新の申込みは、株式会社コムテックの運営するWebサイトからのみ手続きが可能とさせていただきます。
6. 加入者様の更新手続き完了を株式会社コムテックが確認した時点で加入者様へ「更新手続き完了のご案内」と新しいmicroSDHCカードを送付させていただきます。
7. サービスの期日から1ヶ月を過ぎても更新の申込みがない場合、自動的に補償サービス加入者リストから登録を抹消させていただきます。

# 補償サービス

8. サービスの期日以降の事故につきましては、更新手続きが完了していない限り補償サービスの適用対象外とさせていただきます。

## 第8条（本サービスを行わない場合）

- 次の各号のいずれかに該当する場合は、本サービスの提供期間中であっても本サービスの提供は行われません。
  - 警察への事故届けがない場合
  - 補償サービス利用依頼書、その他株式会社コムテックが求める資料の提出がない場合
  - 加入者様からご提出いただく書類等に知っている事実を記載しなかった、または、不実の記載がある場合
  - 事故等が発生した日から2ヶ月を経過した後に、株式会社コムテックへの事故等の通知がなされた場合、又は対象自動車の修理のために入庫がなされた場合
  - 対象自動車が日本国外において損害を被ったとき
  - 法令等により禁止されているにもかかわらず対象自動車に定着、または、装着されている物に生じた損傷、および、当該物に起因して生じた損傷
  - 直接、または、間接を問わず、次の事由によって対象自動車が損傷した場合
    - 加入者様、又は加入者様の許可を得て対象自動車を運転した者の故意、重大な過失、および、法令違反による事故の自動車の損傷
    - 地震、もしくは噴火又は津波その他の天災地変
    - 核燃料物質（使用済核燃料を含み、以下同様とします。）もしくは、核燃料物質によって汚染された物（原子核分裂生成物を含みます。）の放射性、爆発性その他有害な特性の作用、または、これらの特性に起因する事故
    - 戦争・外国の武力行使・革命・政権奪取・内乱・武装反乱・その他類似の事変又は暴動（群集または、多数の者の集団行動によって全国、または、一部の地区において著しく平穏が害され、治安維持上重大な事態と認められた場合
    - 差押え、収用、没収、破壊など国又は公共団体の公権力の行使
    - 詐欺、または、横領
    - 取扱書等に示す方法と異なる使用、不適切な保管、通常の使用の限度を超える過酷な使用（レース・ラリー等による過酷な走行、エンジンの過回転、過積載等）、または、レース場での事故
    - 対象自動車に存在する欠陥、通常の使用損耗あるいは経年変化により発生する現象（消耗部品・油脂類の消耗、劣化、腐食、摩滅、錆び等。樹脂部品・塗装面・メッキ面等の自然の褪色、劣化、腐食、摩滅、錆び等）
    - 故障（偶然かつ外来の事故に直接起因しない電氣的、または、機械的損傷をいいます）
    - 法令により定められた運転資格を持たないで、または、酒酔い・酒気帯び、もしくは、大麻・大麻・アヘン・覚醒剤、シンナー等の影響により正常な運転ができないおそれがある状態における対象自動車の運転による事故の自動車の損傷。
    - 加入者様の犯罪行為、または、闘争行為
    - 盗難などで加入者様の許可を得ないで対象自動車が運転された場合の事故

## 第9条（本約款の変更）

株式会社コムテックは、本約款を予告なくいつでも変更することができるものとします。この場合、変更日以降の本サービスの提供内容、および、提供条件は変更後の約款が適用されるものとします。

## 第10条（個人情報の取扱）

- 株式会社コムテックは、本サービスに関する加入者様の氏名、および、対象自動車に関する情報その他の個人情報（以下「個人情報」といいます）を、本サービスの引受判断、本サービスの履行の目的で利用し、当該目的に必要な範囲で書面、または、電子媒体により本サービスの提供に係る損害保険会社、および、保険代理店に第三者提供します。ただし、加入者様ご自身のお申出により、当該加入者様ご自身の個人情報の第三者提供を停止することができます。
- 株式会社コムテックは、業務委託先に個人情報を預託する場合は、個人情報を保護するための措置を講じたうえ預託します。
- 個人情報の開示、訂正、および、その他のお問合せに関しましては取扱説明書の裏面、および、パッケージ記載の株式会社コムテックサービスセンターまでご連絡ください。なお、お問合せに係る書面、および電話等の内容につきましては記録を行い保存させていただきます場合があります。

本約款は2014年6月1日から発効します。

## よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
LED ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？</li> <li>●シガープラグコードの接触不良や断線などしていませんか？</li> </ul>	— 13 ページ
GPS 衛星を受信しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？</li> <li>●メインカメラ側に電波を遮断する物がありますか？</li> </ul>	6 ページ 14 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビューワソフトを使用してファイルを削除することができます。</li> <li>●SD カードの初期化をすることで microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。</li> </ul>	49 ページ 60 ページ
事故の衝撃映像が保存されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。</li> </ul>	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SD カードの容量を変更することで、記録時間を変更することができます。</li> </ul>	27 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>●microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。</li> <li>●イベント録画データ（衝撃 / マニュアル / 駐車監視衝撃）は上書き禁止設定を [ イベント ] または [ ALL ] に設定しているとメッセージが表示され、上書きされません。録画を再開するにはビューワソフトで不要なデータを削除するか、上書き禁止設定を [ OFF ] に設定してください。</li> </ul>	24 ページ 55 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度走行する場合で約 1 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。</li> </ul>	8 ページ
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●microSDHC カード内に本機以外のデータが保存されていませんか？</li> <li>●必要な映像をパソコンへ保存してから、メインカメラで microSDHC カードの初期化を行なってください。</li> </ul>	5 ページ 8 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。</li> </ul>	—
microSDHC カードがパソコンで認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。</li> </ul>	—

# 付 録

## LED ランプ確認表

本体動作時の LED ランプの確認表です。

メインカメラ LED 表示	リヤカメラ LED 表示	メインカメラ 動作	内容
緑点灯	緑点灯	録画中	録画中
緑点滅		録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯		録画停止	設定モード中
橙点滅		録画停止	メッセージ表示中
緑・橙交互点滅		録画停止	ファームウェアのアップデート中
<b>駐車監視時</b>			
緑 3 回早点滅	緑点灯	録画中	駐車監視モードによる録画中
緑点滅		録画中	駐車監視モードによる衝撃録画中

## オートディマー機能

オートディマー機能により、周囲の明るさによって LED ランプの明るさを自動的に調整します。

## 商標について



microSDHC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

## メッセージ一覧表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
SD カードが挿入されていません	電源を OFF 後に microSDHC カードを挿入し、再起動してください。
SD カードを 確認してください	microSDHC カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSDHC カードを抜いて端子部が汚れていないかご確認のうえ、microSDHC カードを挿入し再起動してください。 症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行なってください。それでも改善されない場合は microSDHC カードの寿命が考えられるため、microSDHC カードを交換してください。
SD カードの初期化を 行なってください	新しい microSDHC カードを使用する場合、または microSDHC カードを本製品で正常に認識できない時に表示されます。パソコンで microSDHC カードのフォーマットを行うか、本製品で SD カードの初期化 (⇒ P60) を行なってください。
高温注意 本体温度が下がるまで 録画を停止します	使用温度範囲を超えているため動作を停止している状態です。夏場の駐車直後などは、しばらく時間において車内の温度が下がってからご使用ください。
上書き禁止 イベント録画データが 保存上限に達しました	上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定した状態で、microSDHC カードの容量を超えて録画しようとした際に表示されるメッセージです。
上書き禁止 録画データが 保存上限に達しました	上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、パソコンで不要な録画データを消去してください。 録画データが不要な場合は本製品で SD カードの初期化 (⇒ P60) を行なってください。
リセットスイッチを押して 再起動してください	リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。症状が改善されない場合は弊社サービスセンターまでご相談ください。
録画データがありません	再生する録画データがない場合に表示されるメッセージです。
録画データの読み込みに失敗しました	SD カード内の録画データが認識できない場合に出るメッセージです。
一日に作成できるフォルダー数 の上限に達しました SD カードを交換するか、フォー マットを行なってください	1日に作成できるフォルダー数の上限に達した場合に表示されます。別の microSDHC カードを使用するか、必要なデータをパソコンに保存後、microSDHC のフォーマットを行なってください。 録画データが不要な場合は本製品で SD カードの初期化 (⇒ P60) を行なってください。
書き込み速度が低下しています。 必要なデータを保存のうえ、 SD カードの初期化を 行なってください	microSDHC カードの断片化が進み、書き込み速度が低下した際に表示されます。必要なデータをパソコンに保存後、パソコンまたは本製品で SD カードの初期化 (⇒ P60) を行なってください。
日時情報がリセットされました 日時を再設定し、1時間程度走行して バッテリーの充電を行ってください 症状が改善しない場合は、 バッテリーの交換を行ってください	長期使用していない場合や内蔵バッテリーの寿命など、内蔵バッテリーの充電不足により日時情報がリセットされた際に出るメッセージです。1時間程度走行し内蔵バッテリーの充電を行ってください。症状が改善されない場合は弊社サービスセンターまでご相談ください。

# 付 録

メッセージ	対処方法
メインカメラの映像がありません	メインカメラの映像が microSDHC カードに無い場合に表示されるメッセージです。メインカメラの映像を削除していないか確認してください。
リヤカメラの映像がありません	リヤカメラの映像が microSDHC カードに無い場合に表示されるメッセージです。リヤカメラの映像を削除していないか確認してください。また、リヤカメラを一度接続したあと、取外して使用する際に表示されます。その場合は、[工場出荷時に戻す] (⇒ P60) を行なってください。
リヤカメラの接続を確認してください	リヤカメラの接続が検出できない場合や、リヤカメラ使用中にカメラケーブルを抜いた場合、またはリヤカメラが正常に動作していない場合に表示されるメッセージです。カメラケーブルの接続を確認し、カメラケーブルの抜き差しなどを行っても症状が改善されない場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。

※ 上記メッセージ画面を表示し、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

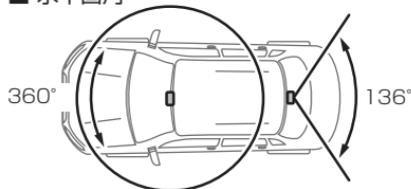
## 製品仕様

電源電圧	DC12V/24V	
最大消費電流	通常時：600mA 以下 / スーパーキャパシタ充電時：800mA 以下	
動作温度範囲	-10℃～60℃	
カメラ	メインカメラ	リヤカメラ (HDR360GW のみ)
撮像素子	1/2.5 型 CMOS センサー	1/2.7 型 CMOS センサー
総画素数	500 万画素	200 万画素
有効画素数	最大 340 万画素	最大 200 万画素
レンズ画角	水平 360° 垂直 240°	水平 136° 垂直 70° (対角 168°)
F 値	F1.8	F2.0
レンズ材質	ガラス	ガラス
記録映像サイズ	ラウンド (1856 × 1856)	FullHD (1920 × 1080) HD (1280 × 720)
録画画質	平均 24Mbps	FullHD 平均 13Mbps HD 平均 8Mbps
GPS	○	
G センサー	○	
記録方式	常時録画 / イベント録画 (衝撃録画) / マニュアル録画 (手動録画)	
録画ファイル構成	1 分単位	
音声録音	ON/OFF 可能	
フレームレート	27.5fps	28.0fps
映像ファイル形式	MP4 (MPEG-4 AVC / H.264)	
記録映像再生方法	専用ビューソフト ※ Windows7/8.1/10 専用 (タブレット PC 除く) ビデオ出力 (別売：AV ケーブル) メインカメラ液晶	
記録媒体	microSDHC カード (付属：32GB/class10) 16～32GB 対応 class10 推奨	
液晶サイズ	2.4 インチフルカラー TFT 液晶	
本体サイズ	メインカメラ	リヤカメラ
	66(W)×109(H)×41.7(D)/mm	58(W)×24.5(H)×24.7(D)/mm
取付ステー装着時	66(W)×109(H)×44.9(D)/mm	58(W)×48.5(H)×24.7(D)/mm
重量	133g	35g

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

## ■カメラ画角イメージ

## ■ 水平画角



## ■ 垂直画角



# さくいん

## 1/A

2分割	31
GPS	7
Gセンサー	58
HDR	56
microSDHC カードについて	8
SD カードの初期化	60
WDR	56

## あ

アップロード変換	47
イベント録画	25
イベント録画領域	28
上書き禁止	55
映像切替え	31
映像反転	42
液晶明るさ	59
液晶表示	59
オールリセット	60

## か

記録時間	27
黒つぶれ	56

## さ

衝撃録画	25
常時録画	24
白とび	56

## た

タイムスタンプ	58
駐車監視衝撃感度	65
駐車監視録画時間	64
駐車監視録画停止電圧	63

## は

ビューワソフト	37
ファイル名	29
フォルダー名	29
補償サービス	67

## ま

マップ表示切替	50
マニュアル録画	26
メインカメラ画像補正	56

## ら

ラウンド*	31
リヤカメラ鏡像	57
リヤカメラ上下反転	57
リヤカメラ録画サイズ	56
録音設定	55
録画領域	28